

中九州横断道路 くまもと きた 熊本北 しもすずりかわ ~ 下硯川

(熊本環状連絡道路)

第2回 説明資料

令和5年6月19日

国土交通省 九州地方整備局

# 目 次

1. 前回までの審議内容	・ ・ ・	2
2. 意見聴取の概要	・ ・ ・	9
3. 意見聴取の結果	・ ・ ・	18
4. 対応方針（案）の検討	・ ・ ・	41
5. 自治体への意見照会	・ ・ ・	47
6. 対応方針（案）まとめ	・ ・ ・	50

# 1. 前回までの審議内容

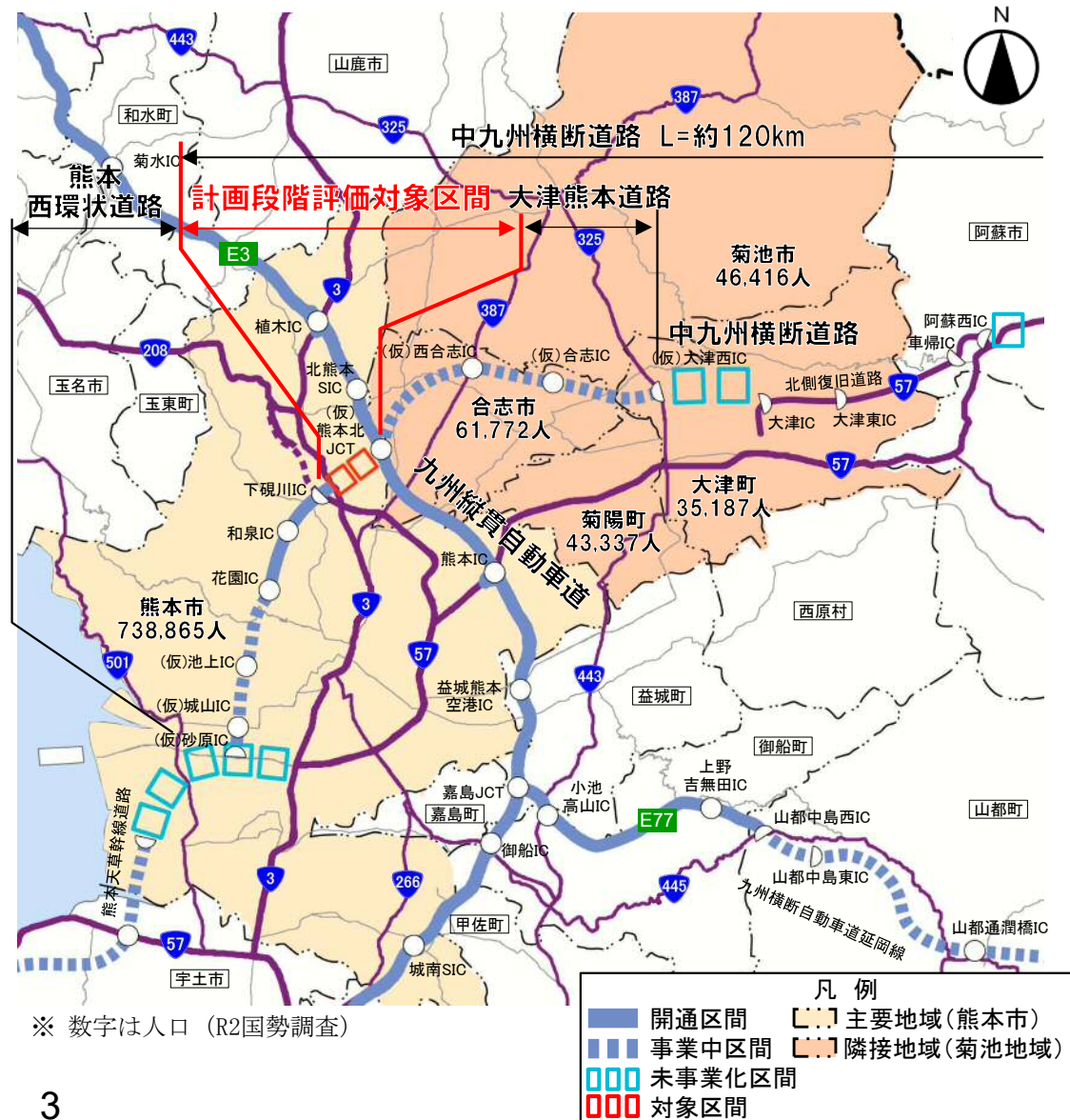
# 1. 評価対象区間

- 対象区間は、熊本・大分両県の県庁所在都市を連絡する中九州横断道路の一部。
- 熊本西環状道路、大津熊本道路と一体となり熊本都市圏の幹線道路網を構成。

【広域図】



【対象区間位置図】



# 1-1. 評価対象区間

- 中九州横断道路は、大分県大分市を起点として、豊後大野市、竹田市、熊本県阿蘇市、大津町、合志市、熊本市に至る延長約120kmの高規格道路である。
- これまでに、約37kmが供用中、約43kmが事業中である。

中九州横断道路 L=約120km



# 1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【令和元年8月】

**新たな道路で描く未来の都市づくりシンポジウム**

熊本のポテンシャルを最大限に引き出す新たな道路ネットワークのあり方等を検討

【検討結果】

- 道路が担う役割(課題)、道路の改善や強化が必要な区間をアンケートにて確認

【構成】

熊本都市道路ネットワーク検討会

- ・熊本商工会議所
- ・熊本経済同友会
- ・熊本大学
- ・国土交通省
- ・熊本県
- ・熊本市

【令和3年度】

第1回(11/5)・第2回(1/20)・第3回(3/4)

**熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会**

「10分・20分構想」の一日も早い実現に向け、構想の実現が熊本県のみならず九州全体へ与える様々な経済効果について調査するとともに、市民や道路利用者の理解を深め、地域の機運醸成につながる効果的な取り組みを行う

【検討結果】

- 熊本市の道路の課題を確認

【構成】

熊本都市圏連絡道路経済効果等検討会

- ・熊本商工会議所
- ・熊本経済同友会
- ・熊本大学
- ・東海大学
- ・熊本日日新聞社
- ・熊本県
- ・熊本市

【令和4年12月15日】

**第1回九州地方小委員会**

【審議事項】

- ◆計画段階評価手続きの進め方(案)
- ◆地域及び道路の現状と課題
- ◆政策目標(案)の設定
- ◆複数案の設定
- ◆評価項目の設定
- ◆複数案の比較評価
- ◆地域の意見聴取方法

**意見聴取**

◆意見聴取内容

- 地域と道路の課題
- 対応方針(案)の検討に際し重視する項目

◆意見聴取方法  
《ヒアリング、オープンハウス、アンケート》

対象者：  
沿線自治体  
団体代表者  
地域住民  
企業 等

今回  
【令和5年6月19日】

**第2回九州地方小委員会**

【審議事項】

- ◆地域から聴取した意見内容の確認
- ◆政策目標の妥当性の確認
- ◆地域等の意見を踏まえた対応方針(案)の検討

対応方針の決定(概略ルート、構造)

【平成25年5月～平成27年9月】

**【中九州横断道路(熊本市～大津町)】九州地方小委員会**

【主な指摘事項】

- 熊本～大分を結ぶ全線としての広域的な必要性を整理すべき
- 熊本都市圏の骨格ネットワークとして、熊本西環状道路や熊本環状連絡道路と一体として考えるべき。

【対応方針(案)】

- 速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道・熊本環状連絡道路と接続する案を選定

地方小委員会

# 1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(1回目)>

## ●九州地方小委員会(1回目)の概要

<p>■実施日 令和4年12月15日(木)</p> <p>■主な議題</p> <p>①地域及び道路の現状と課題 ②政策目標(案)の設定 ③複数案の設定</p>	<p>④評価項目の設定 ⑤複数案の比較評価 ⑥地域の意見聴取方法(案)</p>
---	---

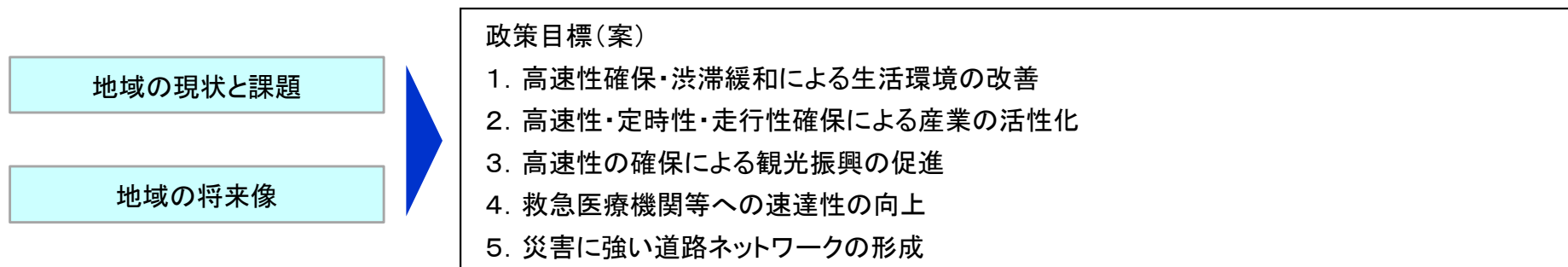
## ●九州地方小委員会(1回目)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<p>・<u>路線の特性を踏まえて、広域的な道路利用者の意見も把握できるように検討して頂きたい。</u></p>	<p>・広域的な道路利用者へのWEBモニター調査に加えて、下記の対応を追加した。</p> <p>・中九州横断道路の沿線地域の道の駅等を対象に、留置き・ポスターの掲載を実施する範囲を拡大した。</p> <p>【修正前】 7箇所※1</p> <p>【修正後】 14箇所(7箇所追加※2)</p> <p>※1 熊本市:道の駅「すいかの里植木」、菊池市:道の駅「泗水」「七城メロンドーム」「旭志」、合志市:ユーパレス弁天、菊陽町:菊陽町総合交流ターミナルさんふれあ、大津町:道の駅「大津」 ※2 阿蘇市:道の駅「阿蘇」「波野」、竹田市:道の駅「すごう」「竹田」、豊後大野市:道の駅「あさじ」「原尻の滝」「おおの」</p> <p>・高速道路のSA(サービスエリア)等における意見聴取について、ポスターを掲載する範囲の拡大に加え、留置きの実施を追加した。</p> <p>【修正前】 ポスターの掲載4箇所※3 留置き実施 0箇所</p> <p>【修正後】 ポスターの掲載7箇所(3箇所追加※4) 留置き実施5箇所(5箇所追加※5)</p> <p>※3 九州縦貫自動車道:基山PA、広川SA、北熊本SA、宮原SA ※4 九州縦貫自動車道:古賀SA、九州横断自動車道長崎自動車道:金立SA、九州横断自動車道大分自動車道:山田SA ※5 九州縦貫自動車道:古賀SA、基山PA、広川SA、宮原SA、九州横断自動車道長崎自動車道:金立SA (インフォメーションがある箇所に設置)</p>

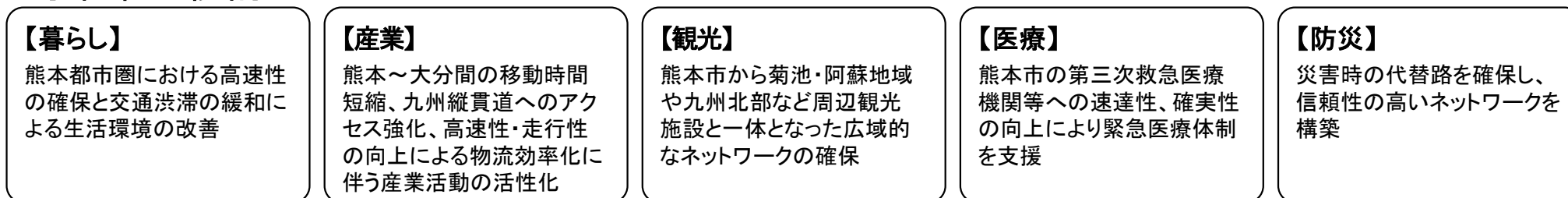
# 1-4. 政策目標(案)の設定

## ■政策目標(案)の設定

○地域の現状と課題や将来像を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これらの目標を達成するための対策案を検討。



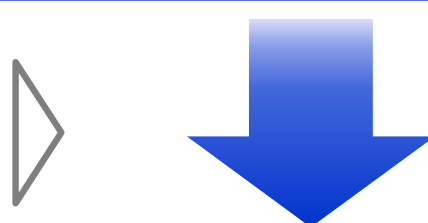
## ■対策案の検討



**基本コンセプト: 大分市～熊本市を最短時間で連絡するとともに、九州縦貫道へのアクセスや走行性の向上を図り、産業の活性化や観光振興、都市圏の渋滞緩和、災害時に強く信頼性の高いネットワークを目指す**

○対策案を検討する上での配慮事項

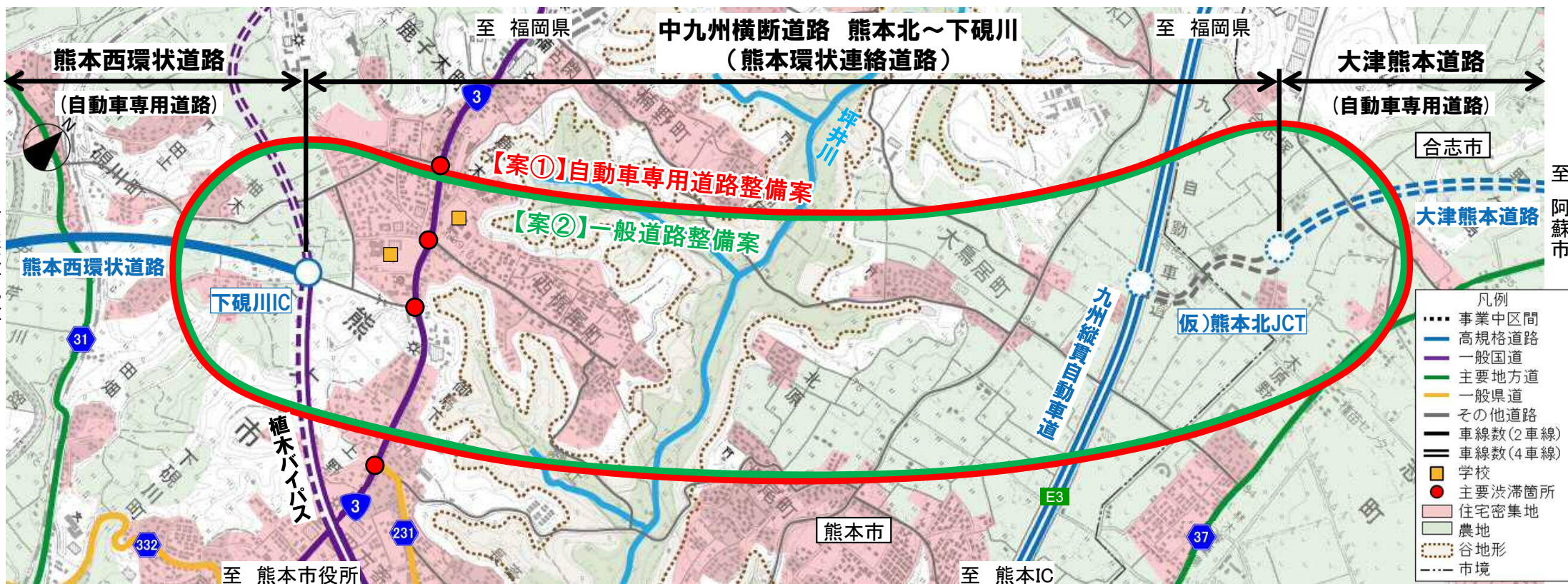
【生活環境・自然環境の保全と調和】
【沿道利用】
【経済性への配慮】



**地域の将来像を実現する対策案について検討**



# 1-5. 複数の対策案の検討



## 【案①】自動車専用道路整備案

国道・市道と立体で交差し、全線自動車専用で整備することで高速性に配慮した案

【横断面(イメージ)】



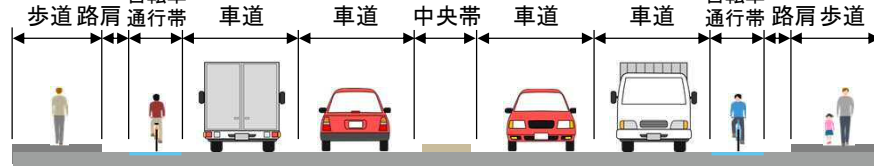
【平面図(イメージ)】



## 【案②】一般道路整備案

国道・市道と平面で交差し、沿道利用に配慮した案

【横断面(イメージ)】



【平面図(イメージ)】



## 2. 意見聴取の概要

## 2-1. 意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・各種団体・企業ヒアリング、地域住民・広域的な道路利用者へのアンケート及びオープンハウスなど以下の内容を実施した。

### ■意見聴取期間

令和5年 1月20日(金)～令和5年 3月17日(金)

### ■意見聴取の実施状況

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	ヒアリング	令和5年 2月16日(木) ～ 3月17日(金) ※追加アンケート調査 ～ 4月17日(月)	熊本県、熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町	6自治体	
団体等			トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、観光協会、畜産協会、医師会 等	18団体	全150票
企業			製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	132社	
地域住民 ・ 広域的な 道路利用者	アンケート	令和5年 2月22日(水) ～ 3月17日(金)	熊本市5,700戸、菊池市400戸、合志市500戸、大津町300戸、菊陽町400戸(合計7,300戸)	3,176票 (はがき 2,956票) WEB 220票	全4,818票
	オープンハウス	【平日】:5日間 令和5年 1月30日(月) 令和5年 1月31日(火) 令和5年 2月 8日(水) 令和5年 2月 9日(木) 令和5年 2月10日(金) 【休日】:4日間 令和5年 1月28日(土) 令和5年 1月29日(日) 令和5年 2月11日(土) 令和5年 2月12日(日)	10箇所 【平日】 ・熊本市役所 ・菊池市役所 ・合志市役所 ・大津町役場 ・菊陽町役場 【休日】 ・道の駅「すいかの里植木」 ・道の駅「旭志」 ・ユーパレス弁天 ・道の駅「大津」 ・菊陽町総合交流ターミナルさんふれあ	992票	
	留置き ・ HP等	令和5年 1月20日(金) ～ 3月17日(金)	・道の駅(すいかの里植木、泗水、七城メロンドーム、旭志、大津、阿蘇、波野、すごう、竹田、あさじ、原尻の滝、おおの) ・ユーパレス弁天、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあ ・高速道路休憩施設(古賀SA、基山PA、広川SA、宮原SA、金立SA) ・事務所HP、公共施設・道の駅等へのチラシ・ポスターの掲示	250票 (留置き 107票) WEB 143票	
	WEBモニター調査	令和5年 3月13日(月) ～ 3月14日(火)	1年以内に1回以上、熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号いずれかを通ったことのある沿線地域(熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町)を除く九州地方在住の方	400票	

## 2-2. 意見聴取の実施状況 ～自治体・団体・企業ヒアリング～

### ■ヒアリング実施状況



【建設業：熊本市】



【製造業：菊陽町】

対象	自治体	団体	企業	
			ヒアリング	追加郵送※
配布数	6自治体	24団体	218社	350社
意見聴取数	6自治体	18団体	45社	87社
			132社	
実施期間	令和5年 3月2日(木) ～3月17日(金)	令和5年 2月16日(木) ～3月17日(金)	令和5年 4月3日(月) ～4月17日(月)	

※郵送による追加アンケートを実施

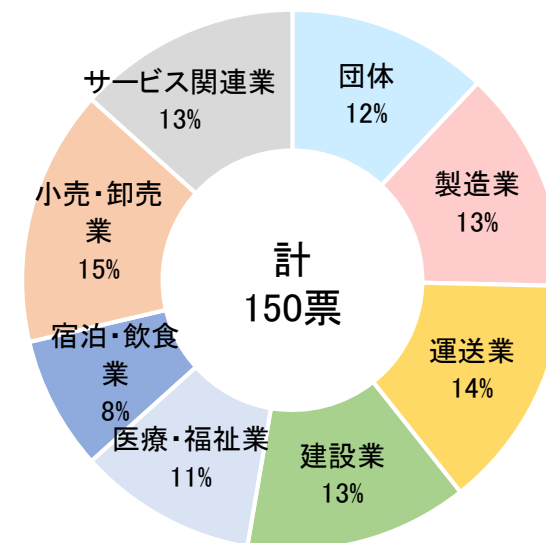


【団体(警察)：熊本市】



【団体(消防)：菊陽町】

### ■ヒアリング実施団体・企業の内訳

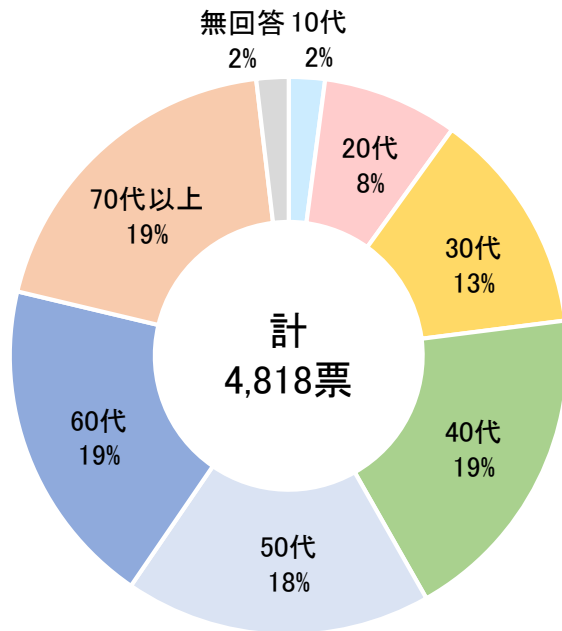


## 2-3. 意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き・WEBモニター調査～

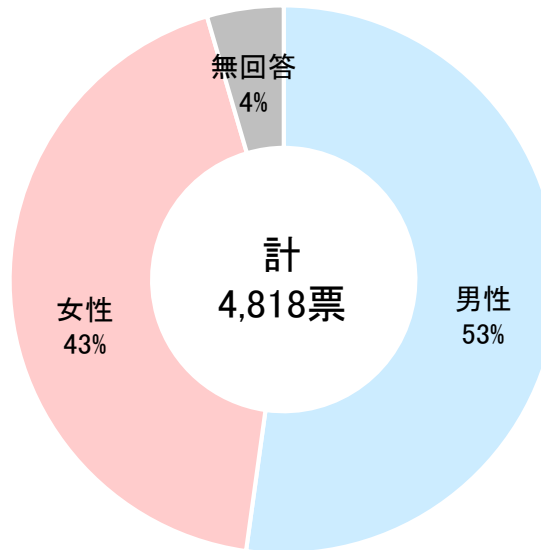
- 回収票数は、4,818票で、幅広い年代・性別の方から回答を頂いている。
- 居住地は、対象地域である熊本市・合志市・菊池市・菊陽町・大津町が約9割を占めているほか、福岡県、対象地域以外の熊本県、大分県などからも回答が得られた。

### ■回答者の内訳

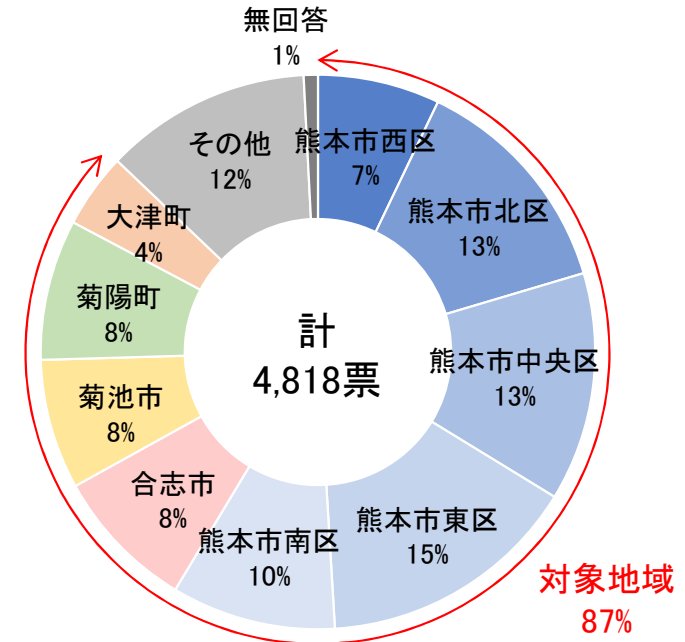
【年代】



【性別】



【居住地】



<参考>その他の居住地

福岡県	4.1%
その他熊本県	2.9%
大分県	1.1%
その他九州内	3.0%
九州外・無回答	0.9%

# 2-3. 意見聴取の実施状況 ~住民アンケート~

## ■住民アンケート実施内容

### アンケートの答え方

#### <回答方法について>

- ・P.4~7を見ながら、回答してください。
- ・選択回答の設問は、あてはまる番号に1つだけ○(マル)をつけてください。
- ・問4、問5-1、問5-2は5段階評価の質問です。各項目について1つずつ○(マル)をつけてください。
- ・問6の設問は自由解答です。具体的なご意見をお書き下さい。

#### <返信用の郵便はがきの記入例>

##### 《オモて面》

料金受取人払郵便

熊本北局 承認

熊本市東区西原1丁目12番1号  
国土交通省九州地方整備局  
熊本河川国道事務所

中九州横断道路  
熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)  
計画段階評価事務局 行

差出有効期間  
令和 年 月 日まで  
(切手不要)

下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

◆あなたご自身の事について【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 1. 熊本市西区 2. 熊本市北区 3. 熊本市中央区 4. 熊本市東区  
5. 熊本市南区 6. 合志市 7. 菊池市 8. 菊陽町 9. 大津町  
10. その他( )

性別 1. 男性 2. 女性 年代 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代  
5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上

問1 熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号をどの程度利用していますか？  
(単一回答)

1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度  
4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない

問2 熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号を通行する際の  
主な交通手段は何ですか？(単一回答)

1. 自動車 2. 公共交通 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

問3 熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号を通行する際の目的として、  
最も多い目的は何ですか？(単一回答)

1. 通勤・通学 2. 仕事 3. 私用 4. その他( )

問4 この地域について、課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・  
そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください。  
(5段階評価)【1～5のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

分類	番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わから ない
暮らし	1	交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる	<input checked="" type="radio"/>				
産業	2	交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している	<input checked="" type="radio"/>				
観光	3	熊本市から菊池・阿蘇地域の観光地までのアクセスが悪い	<input checked="" type="radio"/>				
医療	4	熊本市内の救急医療施設までの搬送時間がかかる		<input checked="" type="radio"/>			
防災	5	道路における災害や通行止めによる不安を感じる		<input checked="" type="radio"/>			

##### 《ウラ面》

問5-1 この地域にとって、望ましい構想案を検討する際に必要な「重視すべき事項」を5段階(特に重視すべき・重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし)で評価してください。  
(5段階評価)【1～5のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

分類	番号	重視すべき事項	特に重視 すべき	やや重視 すべき	どちらでも ない	あまり 重視する 必要なし	重視する 必要なし
暮らし	①	中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	<input checked="" type="radio"/>				
	②	熊本市圏の交通渋滞緩和が期待できること	<input checked="" type="radio"/>				
	③	中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	<input checked="" type="radio"/>				
産業	④	産業拠点(雨水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	<input checked="" type="radio"/>				
	⑤	県庁所在地間(大分～熊本市)の移動時間が短くなること	<input checked="" type="radio"/>				
観光	⑥	熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	<input checked="" type="radio"/>				
医療	⑦	沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	<input checked="" type="radio"/>				
防災	⑧	災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	<input checked="" type="radio"/>				
	⑨	災害時に国道等の代替路として利用できること	<input checked="" type="radio"/>				
道路整備による影響	⑩	生活環境(大気)への影響が小さいこと		<input checked="" type="radio"/>			
	⑪	自然環境への影響が小さいこと		<input checked="" type="radio"/>			
	⑫	治道からの利用がしやすいこと		<input checked="" type="radio"/>			
	⑬	段階的に開通が図られ、早期に整備効果が現れること		<input checked="" type="radio"/>			
	⑭	整備費用が安いこと		<input checked="" type="radio"/>			

問5-2 周辺地域にアクセスする際に「重視すべき事項」

分類	番号	重視すべき事項	特に重視 すべき	やや重視 すべき	どちらでも ない	あまり 重視する 必要なし	重視する 必要なし
	⑮	渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	<input checked="" type="radio"/>				
	⑯	地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	<input checked="" type="radio"/>				
	⑰	地域の観光地と隣接し、観光地への移動時間が短いこと	<input checked="" type="radio"/>				
	⑱	集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること		<input checked="" type="radio"/>			
	⑲	災害時に集落に移動しやすいこと		<input checked="" type="radio"/>			

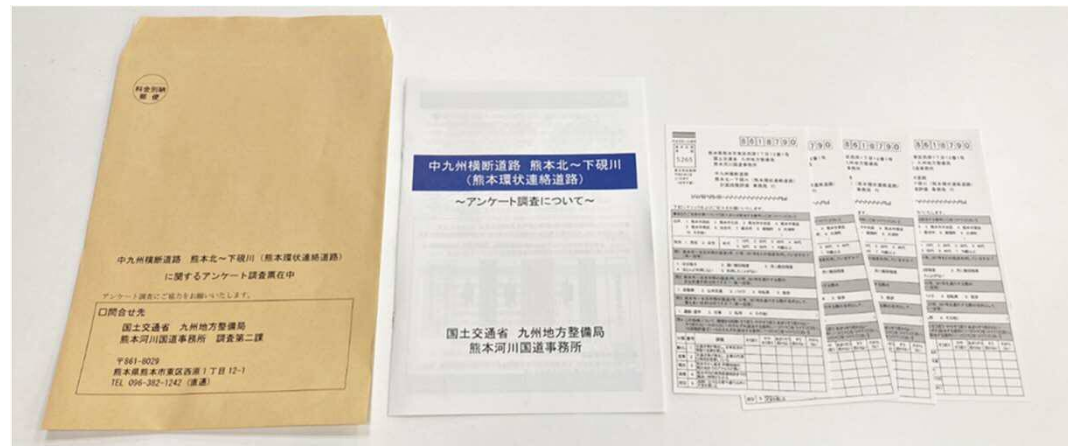
問6 他に配慮すべき事項や今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にご記入ください。

## ■住民アンケート調査票・回収状況

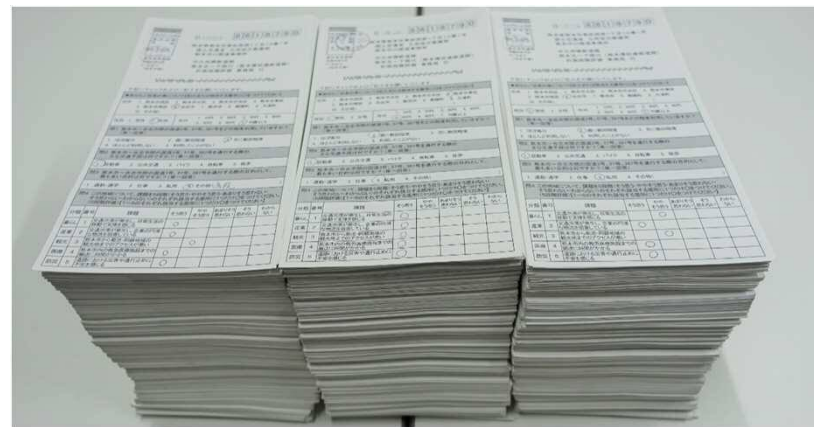
送付用封筒

調査票

返信用はがき4枚



## ■回収はがき



対象	地域住民
配布数	熊本市5,700戸、菊池市400戸、合志市500戸、大津町300戸、菊陽町400戸(合計7,300戸)
意見聴取数	3,176票(うち、WEB:220票)
実施期間	令和5年2月22日(水)～令和5年3月17日(金)

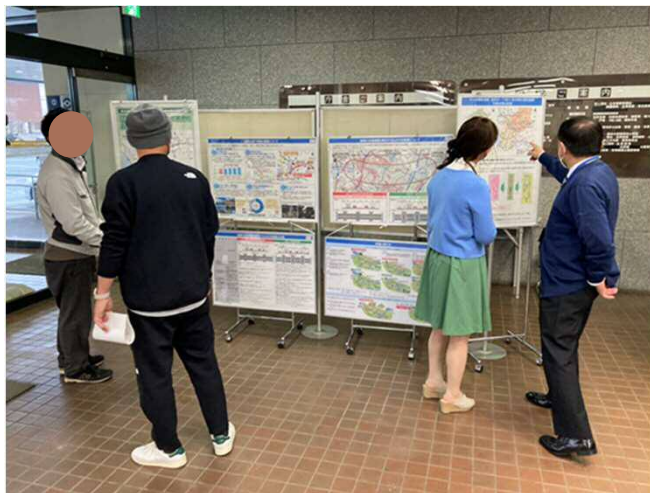
## 2-3. 意見聴取の実施状況 ~オープンハウス~

### ■オープンハウス実施状況

#### <平日>



【令和5年1月30日(月)熊本市役所】



【令和5年2月10日(金)菊陽町役場】

対象	地域住民、広域的な道路利用者
会場	<b>【平日】</b> ・熊本市役所 ・菊池市役所 ・合志市役所 ・大津町役場 ・菊陽町役場 <b>【休日】</b> ・道の駅「すいかの里植木」 ・道の駅「旭志」 ・ユーパレス弁天 ・道の駅「大津」 ・菊陽町総合交流ターミナルさんふれあ
意見聴取数	992票
実施期間	<b>【平日】</b> : 5日間 令和5年1月30日(月)~31日(火) 令和5年2月8日(水)~10日(金) <b>【休日】</b> : 4日間 令和5年1月28日(土)~29日(日) 令和5年2月11日(土)~12日(日)

#### <休日>



【令和5年1月29日(日)道の駅「すいかの里植木」】



【令和5年2月11日(土祝)ユーパレス弁天】



【令和5年2月12日(日)道の駅「大津」】

# 2-3. 意見聴取の実施状況 ~留置き・ポスター~

## ■留置き実施状況

### <留置き>



【道の駅「旭志」】



【道の駅「原尻の滝」】



【広川サービスエリア 上り線】



【古賀サービスエリア 上り線】

### <留置きポスター>

中九州横断道路 熊本北～下視川(熊本環状連絡道路)

**道路計画に関するご意見をお聞かせください!** WEB回答受付中!!

道路計画検討対象区間

中九州横断道路 熊本北～下視川(熊本環状連絡道路)に関し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、WEBアンケート調査を実施しております。  
地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。

**アンケートのご協力をお願いします**

下記の1、2いずれかの方法で回答をお願いします。

1 アンケート用紙に記入後、設置されている回収ボックスに投函

2 インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記のA、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし回答

A. 下記URLをアドレスバーに入力しアクセス  
<https://questant.jp/a/kumamoto-kanjo-d>

B. QRコードからアクセス → 令和5年3月17日(金)までに、回答をお願いします。

お問い合わせ先 国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 調査第二課  
TEL:096-382-1242(直通)

対象	広域的な道路利用者	
実施箇所	留置き	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅(すいかの里植木、泗水、七城メロンドーム、旭志、大津、阿蘇、波野、すごう、竹田、あさじ、原尻の滝、おおの)</li> <li>ユーパレス弁天、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあ</li> <li>高速道路休憩施設(古賀SA、基山PA、広川SA、宮原SA、金立SA)</li> <li>留置きにWEBアンケートの案内も掲示</li> </ul>
	HP、施設掲示	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本河川国道事務所HPでの案内</li> <li>公共施設・道の駅へチラシ・ポスター掲示によるWEBアンケート</li> </ul>
	WEBモニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートサイトのモニター会員へアンケート</li> </ul>
意見聴取数	<p>&lt;留置き・HP等:250票(うち、WEB:143票)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>留置き:107票</li> <li>WEB(留置き):9票</li> <li>WEB(事務所HP):68票</li> <li>WEB(チラシ・ポスター):66票</li> <li>&lt;WEBモニター:400票&gt;</li> </ul>	
実施期間	令和5年1月20日(金)～3月17日(金)	



# 2-3. 意見聴取の実施状況 ~WEBアンケート・WEBモニター~

## ■WEBアンケート調査・WEBモニター調査

### <WEBアンケート調査>

- 住民アンケート、留置き、ポスター・チラシ、記者発表(事務所HP掲載)それぞれにQRコードを掲載し、WEBサイトを準備
  - スマートフォン・タブレット・PC対応
  - 1人1回までの回答制限を設定
- ### <WEBモニター調査>
- 1年以内に1回以上、熊本市～合志市間の国道3号、57号、387号いずれかを通ったことのある沿線地域(熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町)を除く九州地方在住の方を条件に調査実施
  - モニター会員へ配信し、400票を回収

### <WEBアンケート:地域住民用>


中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)の道路計画に関するアンケートにご協力をお願いいたします。

熊本環状連絡道路は、熊本西環状道路と大津熊本道路と一体となり熊本市圏の幹線道路網を構成する道路です。  
本調査は、熊本環状連絡道路の道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」や道路構造を決める際に「重視すべき事項」についてご意見を頂くことを目的としています。皆様のご協力をお願いいたします。

#### ■アンケート対象者

- 本アンケートは、熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。
- 本アンケートは、配布させていただいた世帯のご家族の方を対象に幅広い年齢層の方からのご意見を伺いたいと考えております。お手数ですがアンケートの主旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。
  - ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用 返信はがき」を4枚同封させて頂いております。(対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。)
  - なお、返信ハガキが不足する場合は以下の問合せ先にご連絡ください。

#### ■回答の提出方法及び締切

- 回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
- 【方法1】 同封しています「返信はがき」にご記入頂き、  
令和5年3月17日(金)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。
- 【方法2】 インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、  
令和5年3月17日(金)までに、回答をお願いいたします。
- A 右記URLをアドレスバーに入力 <https://questant.jp/q/kumamoto-kanjo>
- B QRコードからアクセス QRコードはこちら 

国土交通省 九州地方整備局  
問い合わせ先 熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL:096-382-1242(直通)

### <WEBアンケート:広域的な道路利用者用>

中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)

道路計画に関するご意見をお聞かせください!  
WEB回答受付中!!



中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)に関し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、WEBアンケート調査を実施しております。  
地域の皆様の日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。

#### WEBアンケートのご協力をお願いします

- インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、  
令和5年3月17日(金)までに、回答をお願いします。
- A 下記URLをアドレスバーに入力 <https://questant.jp/q/kumamoto-kanjo-d>
- B QRコードからアクセス 

お問い合わせ 国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL:096-382-1242(直通)

### <WEBモニター調査>

■ 図の計画段階評価対象区間の道路計画を検討するにあたり、周辺地域の課題等についてお問い合わせいたします。  
※ [画像を拡大] をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。



### <WEBアンケート調査>

**4 熊本市内の救急医療施設までの搬送に時間がかかる**

◆ 阿蘇地域の救急搬送は、約4割が管外搬送で、半数が熊本市の第三次救急医療施設へ搬送されています。  
◆ 熊本市内の搬送で搬送に時間がかかっており、患者の容態にも影響を及ぼしています。

その他の搬送(熊本市以外) 37%  
管外搬送 985件  
その他の搬送(熊本市内) 9%

▲ 阿蘇地域の管外搬送の内訳  
資料: 消防本部 センシング結果(※1)

◆ 一般道では流滞で動けなくなることがあり、サイレンを鳴らしても車が動けず搬送に時間がかかってしまう。

**5 道路における災害や通行止めに不安を感じる**

◆ 対象区間周辺地域は、近年、九州北部豪雨や熊本地震等により、現道の国道57号で長橋の通行止めが発生しています。  
◆ 災害時には着しい交通集中により迅速な救援活動、物資輸送に支障が生じる恐れがあります。

H28.4熊本地震時の通行止め(阿蘇大橋)  
H28.4熊本地震時に流滞に巻き込まれる自衛隊車両

Q7. この地域について、課題を5段階のそれぞれ該当する箇所を1つだけ選択してください。(5段階評価)

そう思う ややそう思う あまりそう思わない そう思わない わからない

[暮らし] (1) 交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる

[産業] (2) 交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している

# 2-3. 意見聴取の実施状況 ~HP・広報~

- ①ホームページ : 国土交通省熊本河川国道事務所のホームページに意見聴取のページ(記者発表)を掲載
- ②広報チラシ・ポスター : 沿線自治体の公共施設や道の駅、高速道路の休憩施設へチラシ・ポスターを掲示
- ③地域への情報提供 : SNS(熊本河川国道事務所のTwitter)に掲載

## ①ホームページ



▲熊本河川国道事務所HP

国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

いのちとくらしをまもる  
防災 減災

Press Release  
令和5年1月19日  
九州地方整備局  
熊本河川国道事務所

### 中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価®の手続きを進めております「中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)」に關し、道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見をお聞かせください。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

#### アンケート調査について

○実施期間 : 令和5年1月20日(金)から令和5年3月17日(金)

アンケート調査対象者	実施・配布方法
①沿線住民の方	・郵送により配布 ・熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町 ※無作為抽出
②その他の地域にお住まいの道路利用者	・道の駅®にアンケート用紙とアンケート回収ボックス設置 ・九州縦貫自動車道休憩施設®にてWEBアンケートの案内を掲載 ※1 : 道の駅 すいかの里熊本、熊本、七城メロンドーム、旭志、大津 等 ※2 : 基山PA、広川SA、北熊本SA、宮原SA 等

#### ヒアリング調査について

○実施期間 : 令和5年1月20日(金)から令和5年3月17日(金)

○調査対象等 : 沿線自治体である熊本県、熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町及び中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)の利用が考えられる団体、企業等

○実施方法 : 対面方式

#### オープンハウスについて

○実施期間 : 令和5年1月下旬～2月中旬予定(詳細な開催日・場所はホームページでお知らせします)(URL : <http://www.qsr.mit.go.jp/kumamoto/>)

上記のほか、WEBアンケートも実施しております。(1/20～3/17まで)  
右記のURLまたはQRコードからアンケートサイトにアクセスして回答することができます。 URL <https://questant.jp/q/kumamoto-karjio-h>



<問い合わせ先>  
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所  
技術副所長 柴尾 照雄  
調査第二課長 矢野 慎一  
TEL 096-382-1242 (直通)

▲記者発表(R5.1.19)

## ②広報チラシ・ポスター



▲チラシ



▲ポスター(北熊本SA下り線)

## ③地域への情報提供



▲Twitter

# 3. 意見聴取の結果

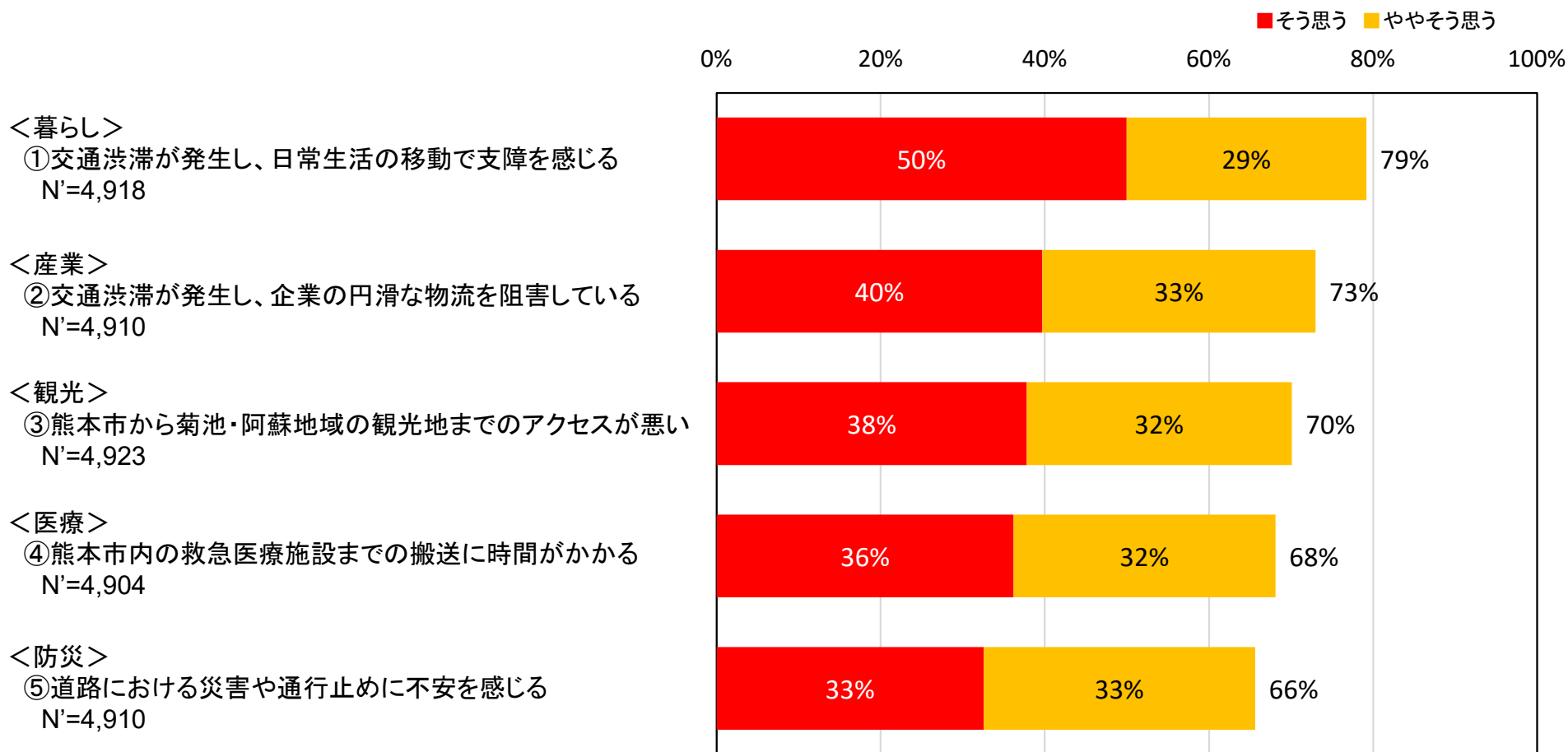
# 3-1. 意見聴取の結果(地域の現状と課題) <アンケート・ヒアリング>

■すべての項目で6割以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答。

■特に「①交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる」について、課題意識が高く、約8割が「そう思う」「ややそう思う」と回答。

【質問】 この地域について、課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○を付けてください。

【回答】 全体(団体・企業、地域住民・広域的な道路利用者): 4,968票



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある(N=4,968 N'=無回答を除く)

# 3-1. 意見聴取の結果(地域の現状と課題) <アンケート・ヒアリング>

■ 団体・企業と地域住民ともに、すべての項目で6割以上が課題について『そう思う』『ややそう思う』と回答。  
 ■ 「①交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる」について『そう思う』『ややそう思う』と回答した割合が団体・企業で約9割、地域住民で約8割と最も多く、次いで『②交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している』が多かった。

【質問】 この地域について、課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○を付けてください。

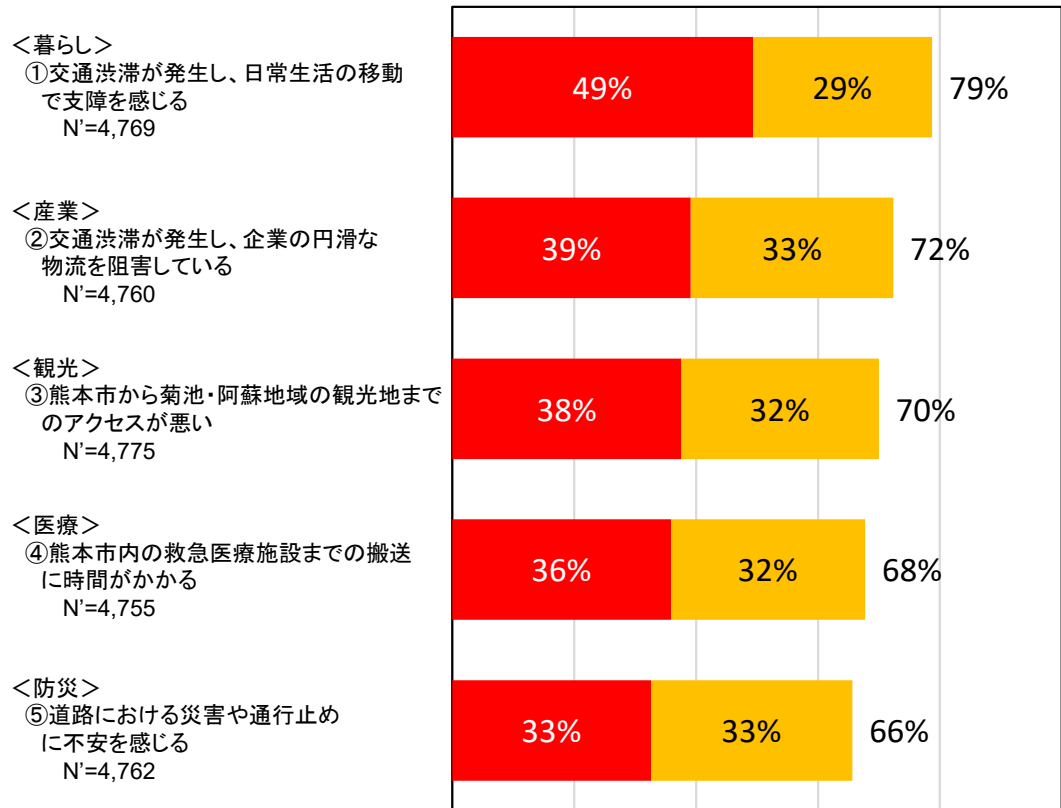
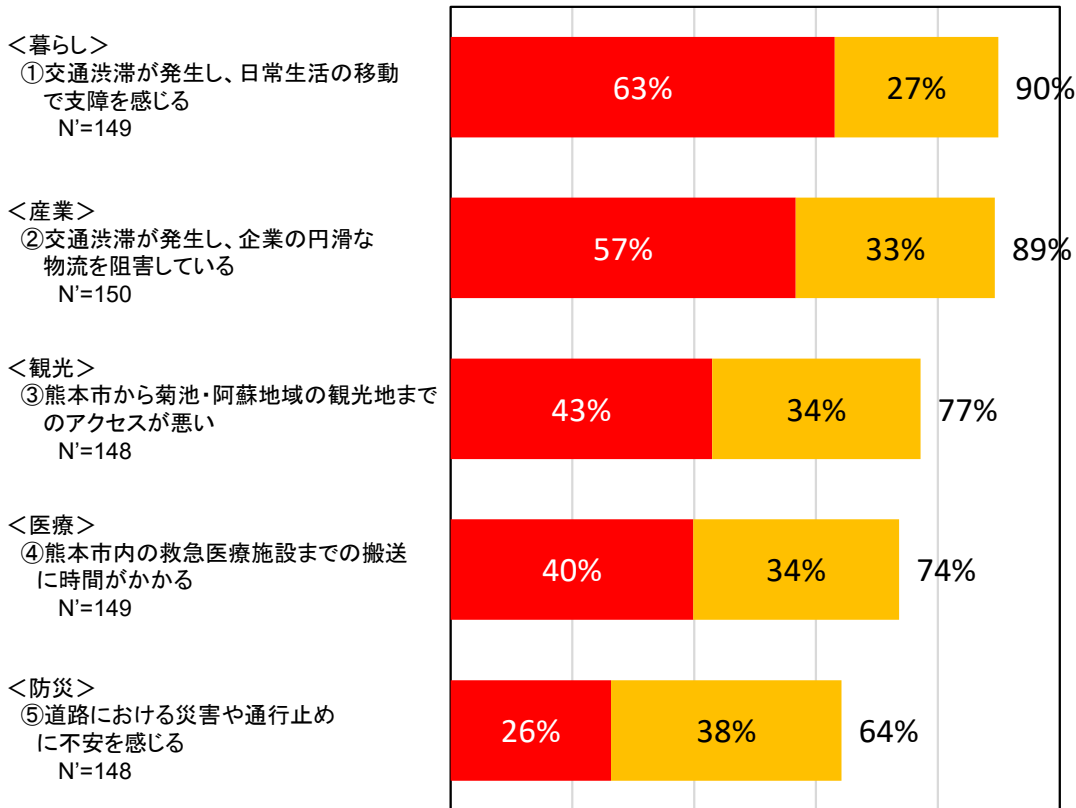
【回答】 団体・企業: 150票

【回答】 地域住民・広域的な道路利用者: 4,818票

■ そう思う ■ ややそう思う

0% 20% 40% 60% 80% 100%

0% 20% 40% 60% 80% 100%



※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある(左N=150 右N=4,818 N'=無回答を除く)

## 3-1. 意見聴取の結果(地域の現状と課題) <自治体への意見聴取結果>

■ 県・沿線自治体からは、「熊本都市圏の慢性的な交通渋滞」「拠点アクセス機能が脆弱」「時間的信頼性が低い」「救急医療施設への搬送時間がかかる」といった意見が寄せられた。

地域の現状と課題	主な意見
交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県の主要渋滞箇所数は、九州各県の中で最も多く、このうち約8割が熊本都市圏に集中している。また、熊本市中心部の平均旅行速度は、全国の政令指定都市(3大都市圏除く)で最も低く、交通渋滞が慢性化している。さらに、熊本市中心部から近隣ICまでの所要時間は、福岡都市圏や広島都市圏と比較して最大約4倍となるなど、拠点アクセス機能が脆弱である。(熊本県)</li> <li>・当地域における国道3号、国道57号及び国道387号は、特に朝ピーク時において熊本市内に向かう交通が集中し速度低下が発生している。そのため、交通容量の確保や分散等による速度の向上が求められる。(熊本市)</li> <li>・熊本都市圏における慢性的な渋滞により、通勤、通学、買い物などの移動に時間を要している。また、交通集中により幹線道路や生活道路での事故危険性が高い。(合志市)</li> </ul>
交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊池地域など都市圏北東部には、県内最大の工業地域が存在しており、その中の大手自動車メーカーは二輪車の完成車輸送の拠点として熊本港を活用しているが、現在は慢性的な交通渋滞が発生する市街地の通過を余儀なくされている。今後、当該地域へのTSMC及び関連企業の進出により、更なる渋滞が予想されることから高速性・定時性の確保が求められる。(熊本市)</li> <li>・企業の物流の阻害については少なからず経済効果へ悪影響を及ぼしていることが考えられるため対策が必要と考える。(菊池市)</li> <li>・TSMCや関連する企業の開発が相次ぎ、建設に伴う工事車両が増えており、今後も企業の関連車両が増えることが想定され、渋滞の要因となることが考えられる。(菊陽町)</li> </ul>
熊本市から菊池・阿蘇地域の観光地までのアクセスが悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本城などが立地する熊本市中心部から、菊池溪谷や阿蘇、黒川、湯布院、別府等の全国レベルで人気のある観光地へアクセスする際、国道57号は重要な路線となる。特に、「阿蘇くじゅう国立公園」をはじめ、「世界農業遺産」等に認定された阿蘇地域は、多くの観光客が訪れる国際観光拠点であり、今後も、交流人口の拡大が期待される。しかし、国道57号を含む熊本都市圏における交通渋滞により、熊本市中心部から移動する際、時間的信頼性が低い。(熊本県)</li> <li>・菊池地域については山間地に位置しているため、標高差が大きく道路が複雑な地形に沿って走っている。他県等からの観光客をより多く呼び込むためにはよりスムーズにアクセスするための整備は必須である。(菊池市)</li> </ul>
熊本市内の救急医療施設までの搬送に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本市内の渋滞で搬送に時間がかかり、患者の容態にも影響を及ぼしている。(合志市)</li> <li>・国道57号および国体道路等の熊本市内へ向かう国道、県道、市町村道の慢性的な渋滞により救急医療施設への搬送時間がかかっており、患者の容態にも影響を及ぼす懸念がある。このため、救急医療施設への速達性・走行性の確保が課題である。(大津町)</li> </ul>
道路における災害や通行止めによる不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時には著しい交通集中により、迅速な救援活動、物資輸送に支障が生じる恐れがある。(菊陽町)</li> <li>・熊本地震の際は、国道57号の不通により代替道路であった県道北外輪山大津線(通称ミルクロード)に交通が集中し、暮らし、産業、観光、医療等様々な面で甚大な影響を受けた。そのため、災害時における救急搬送や災害対応に支障が出ないよう安全性・定時性のある道路の確保が課題である。(大津町)</li> </ul>

# 3-1. 意見聴取の結果(地域の現状と課題) <まとめ>

## ■政策目標の設定<政策目標(案)の検証>

■地域の課題に対して全ての項目で6割以上が『そう思う』『ややそう思う』と回答があり、設定した政策目標(案)は妥当であると確認。

### 【政策目標:暮らし】高速性確保・渋滞緩和による生活環境の改善

(課題:交通渋滞が発生し、日常生活の移動で支障を感じる)  
 について約8割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標:産業】高速性・定時性・走行性確保による産業の活性化

(課題:交通渋滞が発生し、企業の円滑な物流を阻害している)  
 について約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標:観光】高速性の確保による観光振興の促進

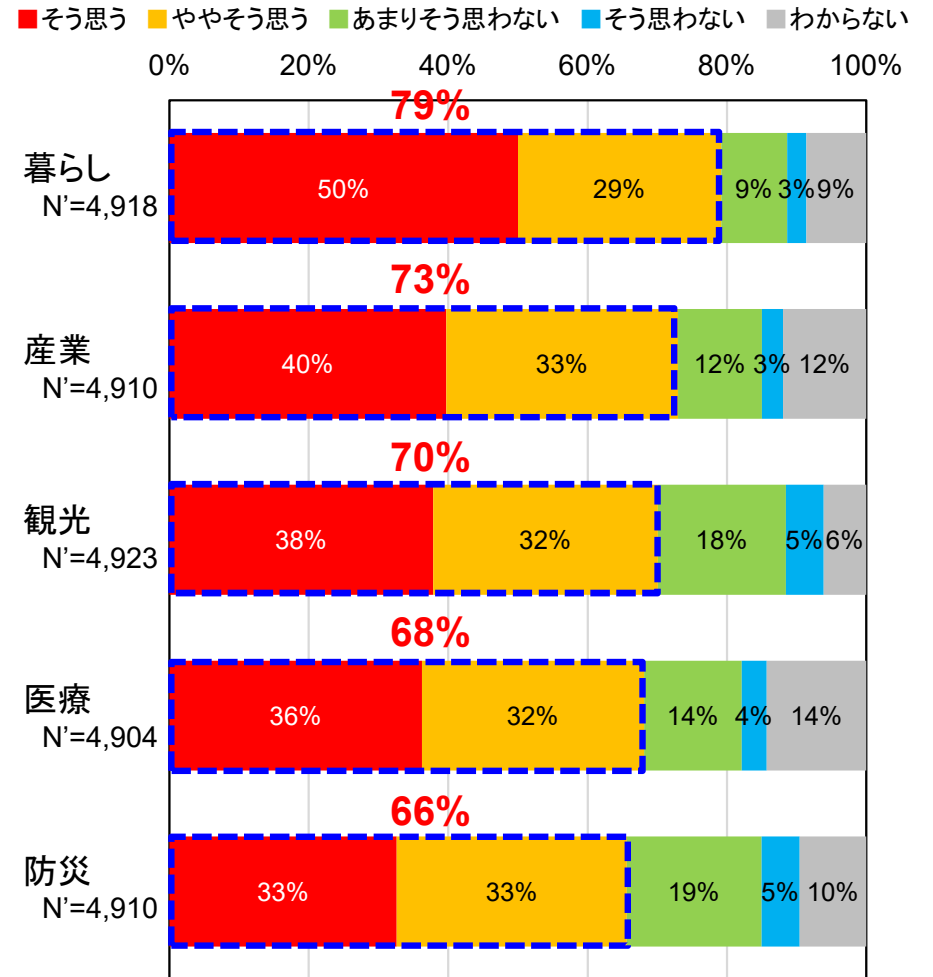
(課題:熊本市から菊池・阿蘇地域の観光地までのアクセスが悪い)  
 について約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標:医療】救急医療機関等への速達性の向上

(課題:熊本市内の救急医療施設までの搬送に時間がかかる)  
 について約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答

### 【政策目標:防災】災害に強い道路ネットワークの形成

(課題:道路における災害や通行止め不安を感じる)  
 について約7割が『そう思う』『ややそう思う』と回答



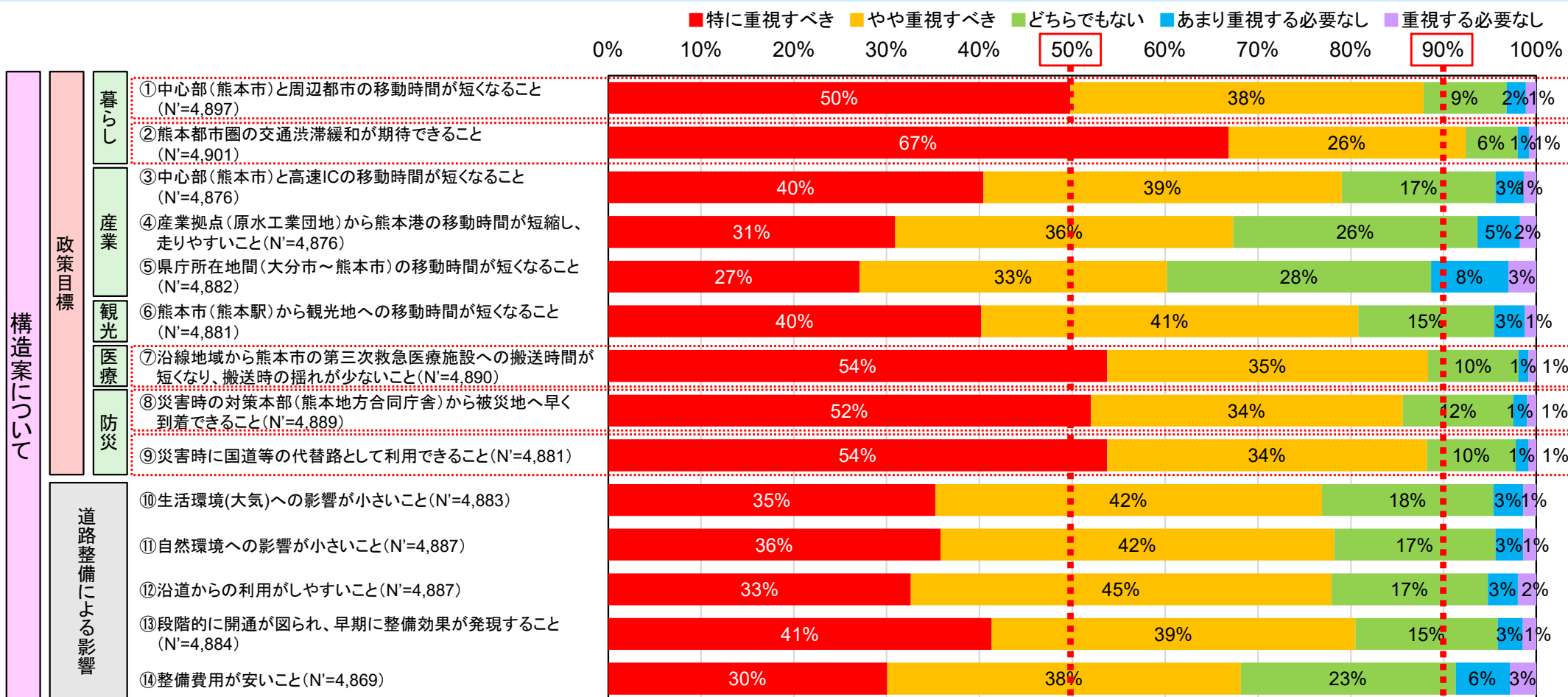
※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある (N=4,968 N'=無回答を除く)

## 3-2. 意見聴取の結果(対策案に関すること)

- 政策目標及び道路整備による影響については、すべての項目で重視すべきとの意見が6割以上であった。
- その中でも、「①中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること」「②熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること」「⑦沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと」「⑧災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること」「⑨災害時に国道等の代替路として利用できること」について、重視すべきとの意見が約9割と多く、その内5割以上が特に重視すべきとの意見であった。

【質問】 この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に必要な「重視すべき事項」を5段階(特に重視すべき・重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし)で評価してください。

【回答】 全体(団体・企業、地域住民・広域的な道路利用者): 4,968票



：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目



# 3-2. 意見聴取の結果(対策案に関すること)

- 団体・企業と地域住民ともに、「①中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること」「②熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること」「⑦沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと」「⑧災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること」「⑨災害時に国道等の代替路として利用できること」を重視すべきとの意見が約9割と多かった。
- 団体・企業からは、「③中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること」「⑩自然環境への影響が小さいこと」「⑬段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること」についても重視すべきとの意見が約9割と多かった。

【質問】 この地域にとって、望ましい構造案を検討する際に必要な「重視すべき事項」を5段階(特に重視すべき・重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし)で評価してください。

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視する必要なし ■ 重視する必要なし

【回答】 団体・企業: 150票

【回答】 地域住民・広域的な道路利用者: 4,818票

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

構造案について

政策目標

暮らし

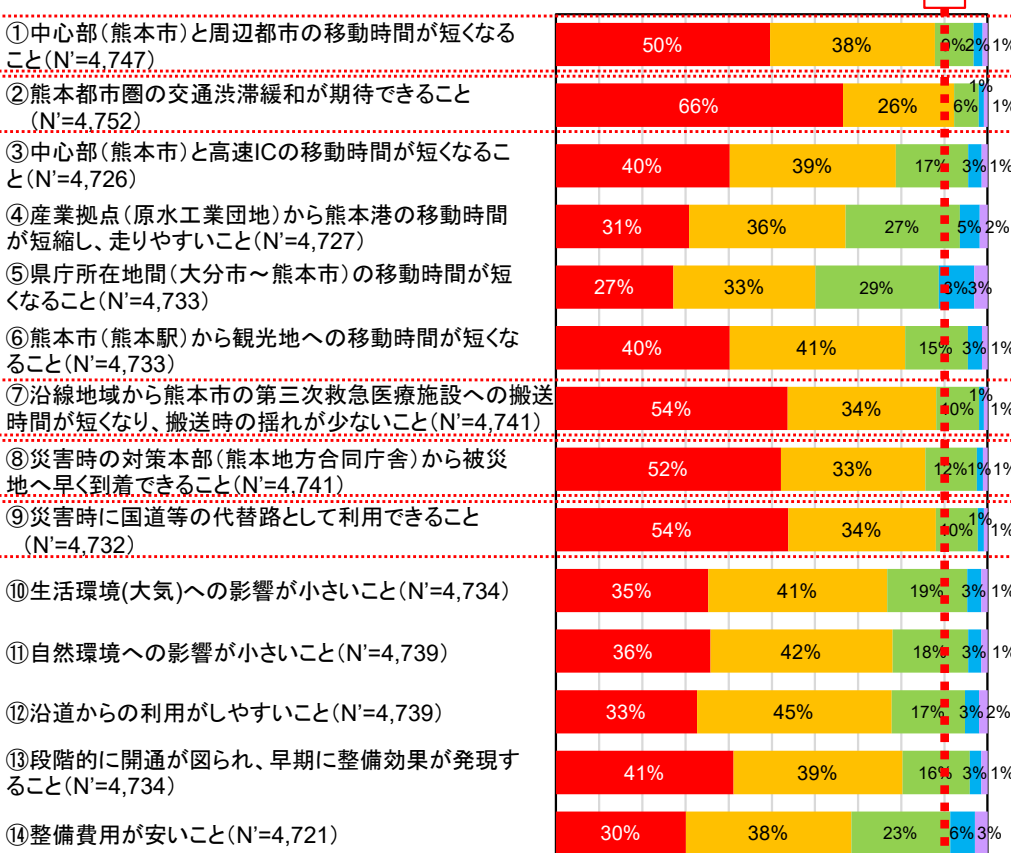
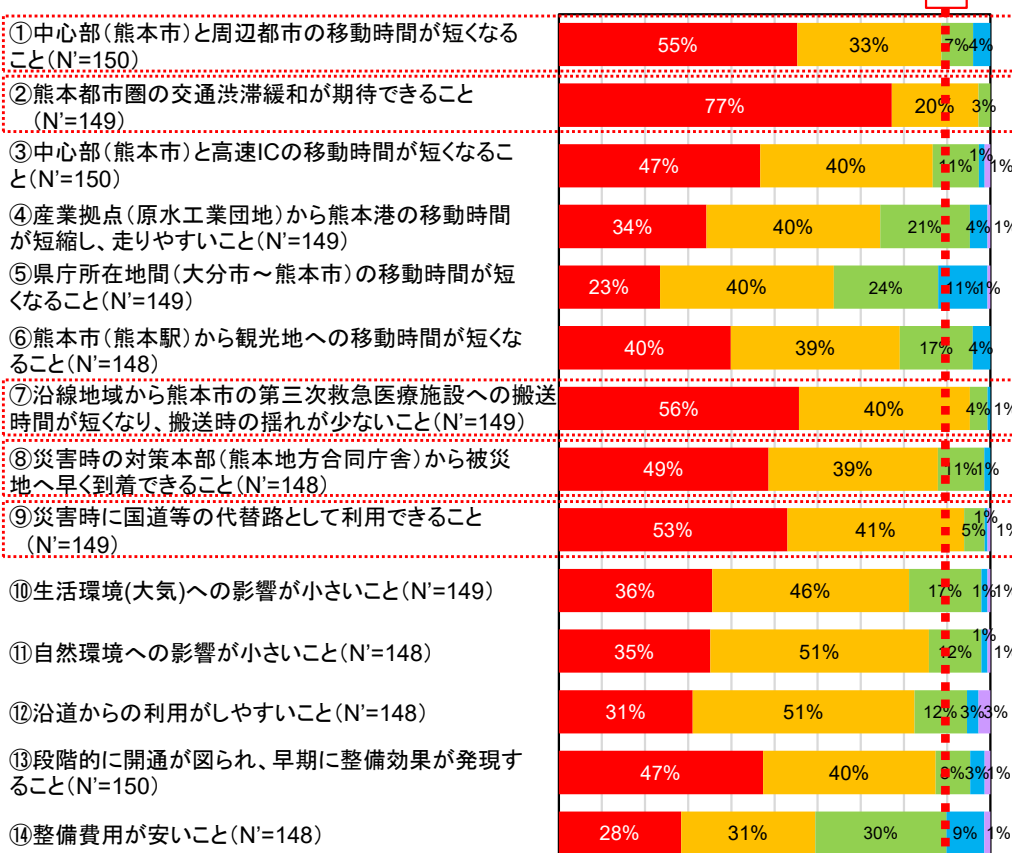
産業

観光

医療

防災

道路整備による影響



：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

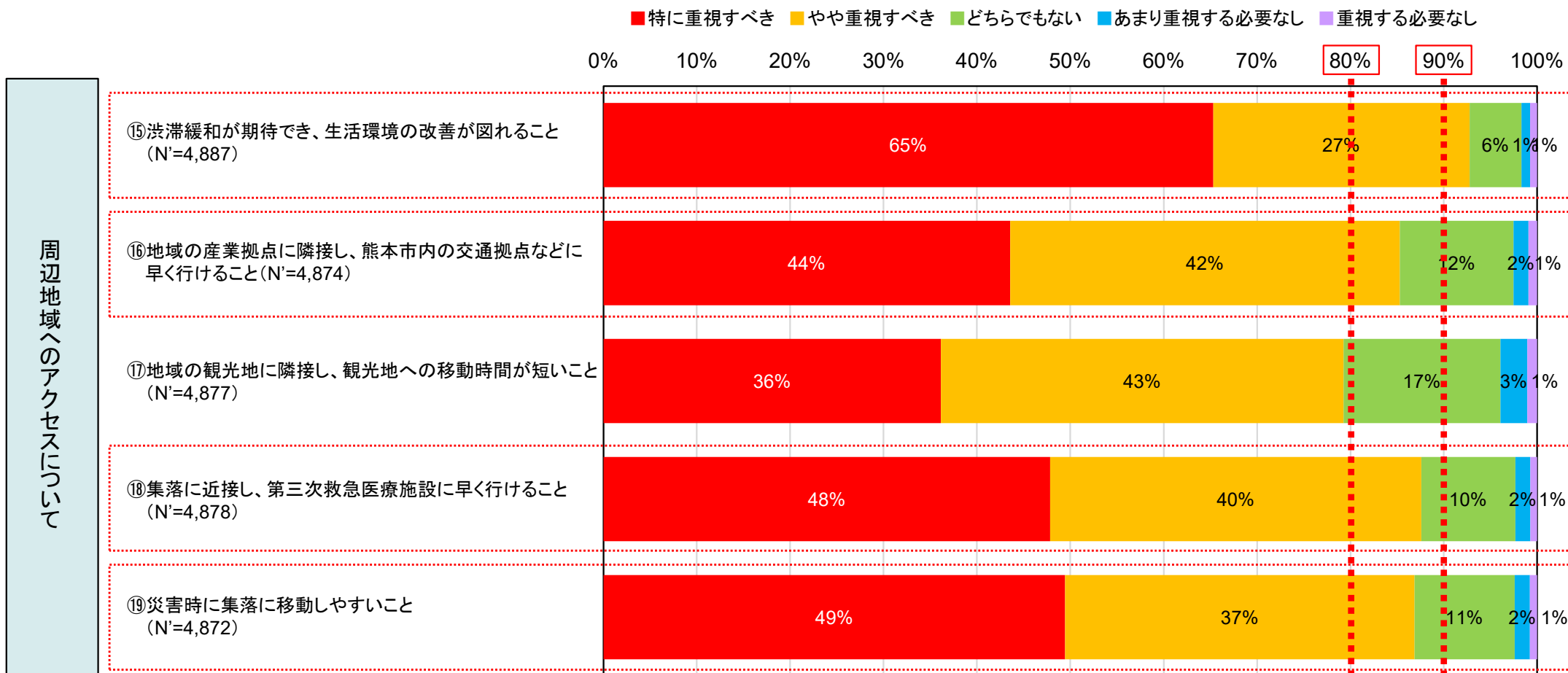
※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある(左N=150 右N=4,818 N'=無回答を除く)

## 3-2. 意見聴取の結果(周辺地域へのアクセスに関すること)

■周辺地域へのアクセスについては、「⑮渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること」「⑯地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること」「⑩集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること」「⑰災害時に集落に移動しやすいこと」を重視すべきとの意見が8割以上と多かった。特に「⑮渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること」については重視すべきとの意見が9割以上と多かった。

【質問】 この地域にとって、周辺地域にアクセスする際に「重視すべき事項」を5段階(特に重視すべき・重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし)で評価してください。

【回答】 全体(団体・企業、地域住民・広域的な道路利用者):4,968票



：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある(N=4,968 N'=無回答を除く)

## 3-2. 意見聴取の結果(周辺地域へのアクセスに関すること)

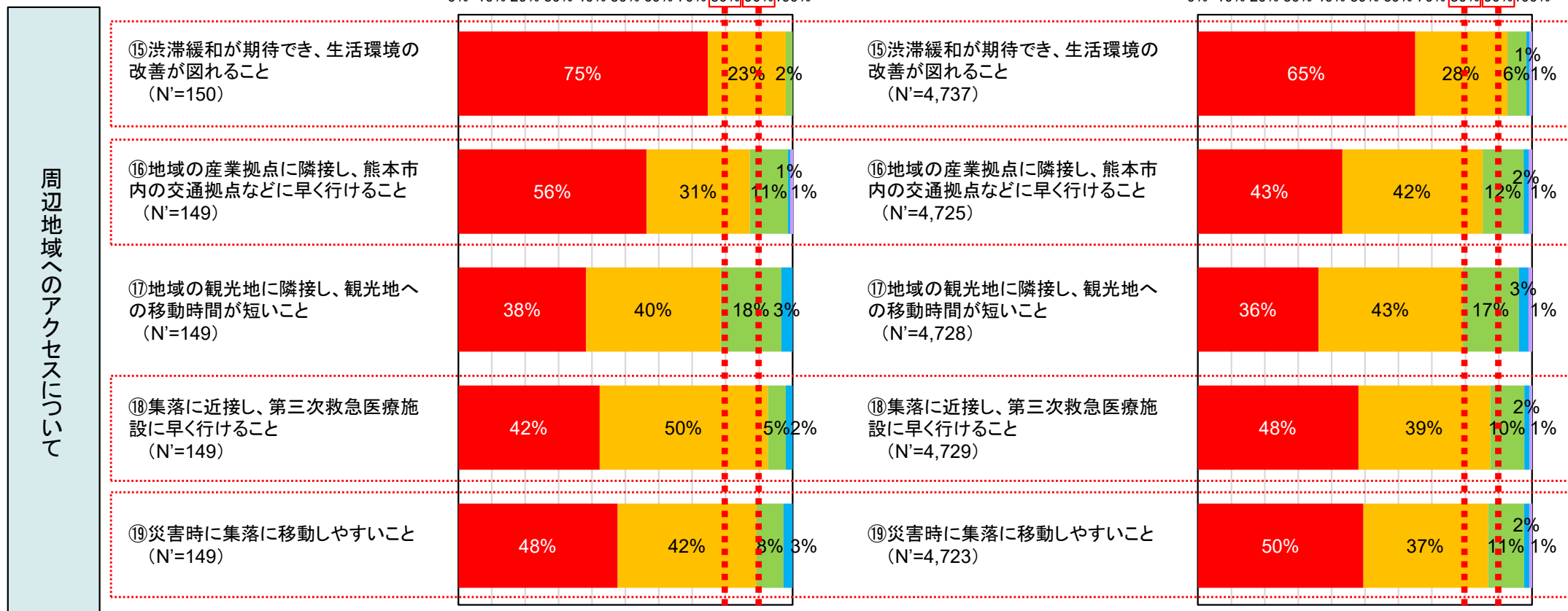
■ 団体・企業と地域住民ともに、「⑮渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること」「⑯地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること」「⑩集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること」「⑰災害時に集落に移動しやすいこと」を重視すべきとの意見が8割以上と多かった。特に「⑮渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること」については重視すべきとの意見が9割以上と多かった。

【質問】 この地域にとって、周辺地域にアクセスする際に「重視すべき事項」を5段階(特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視する必要なし・重視する必要なし)で評価してください。

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視する必要なし ■ 重視する必要なし

【回答】 団体・企業:150票

【回答】 地域住民・広域的な道路利用者:4,818票



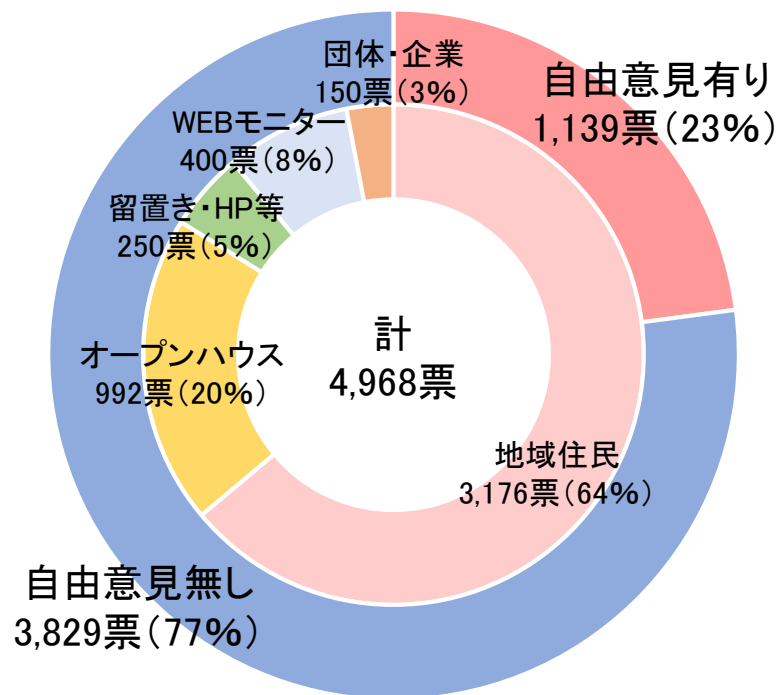
：意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある(左N=150 右N=4,818 N'=無回答を除く)

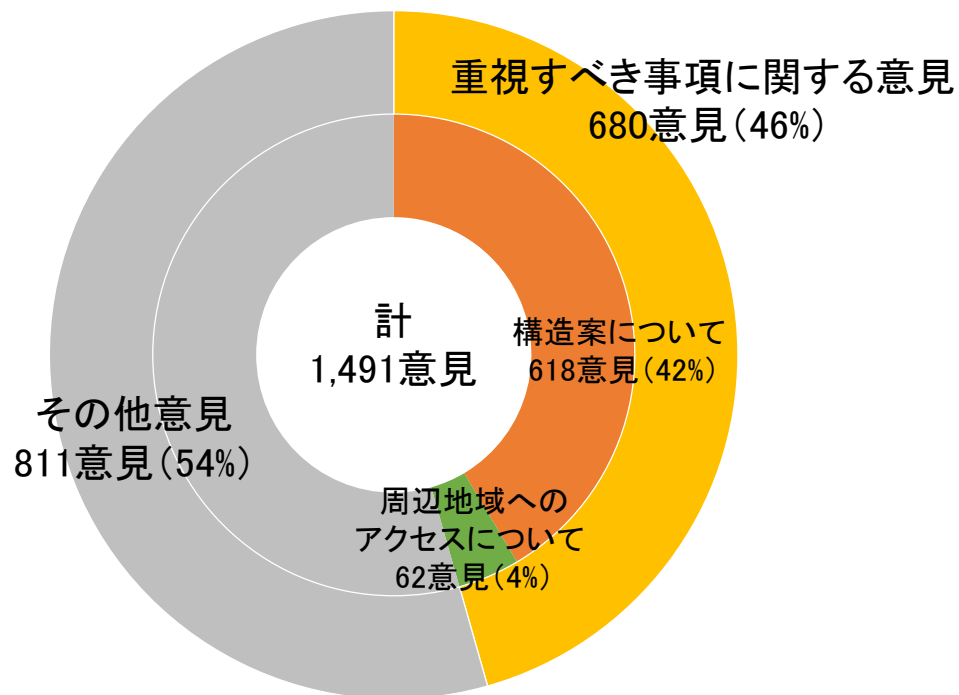
### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自由意見の回収状況>

- 意見聴取において、地域住民アンケート3,176票、オープンハウス992票、留置き・HP等250票、WEBモニター調査400票、団体・企業アンケート・ヒアリング150票、全4,968票を回収した。  
このうち、自由意見として1,139票(1,491意見)の意見が寄せられた。
- 自由意見数の内訳として、「重視すべき事項に関する意見」が約5割、「その他意見」が約5割であった。

【意見聴取の回収状況】



【自由意見の内訳】

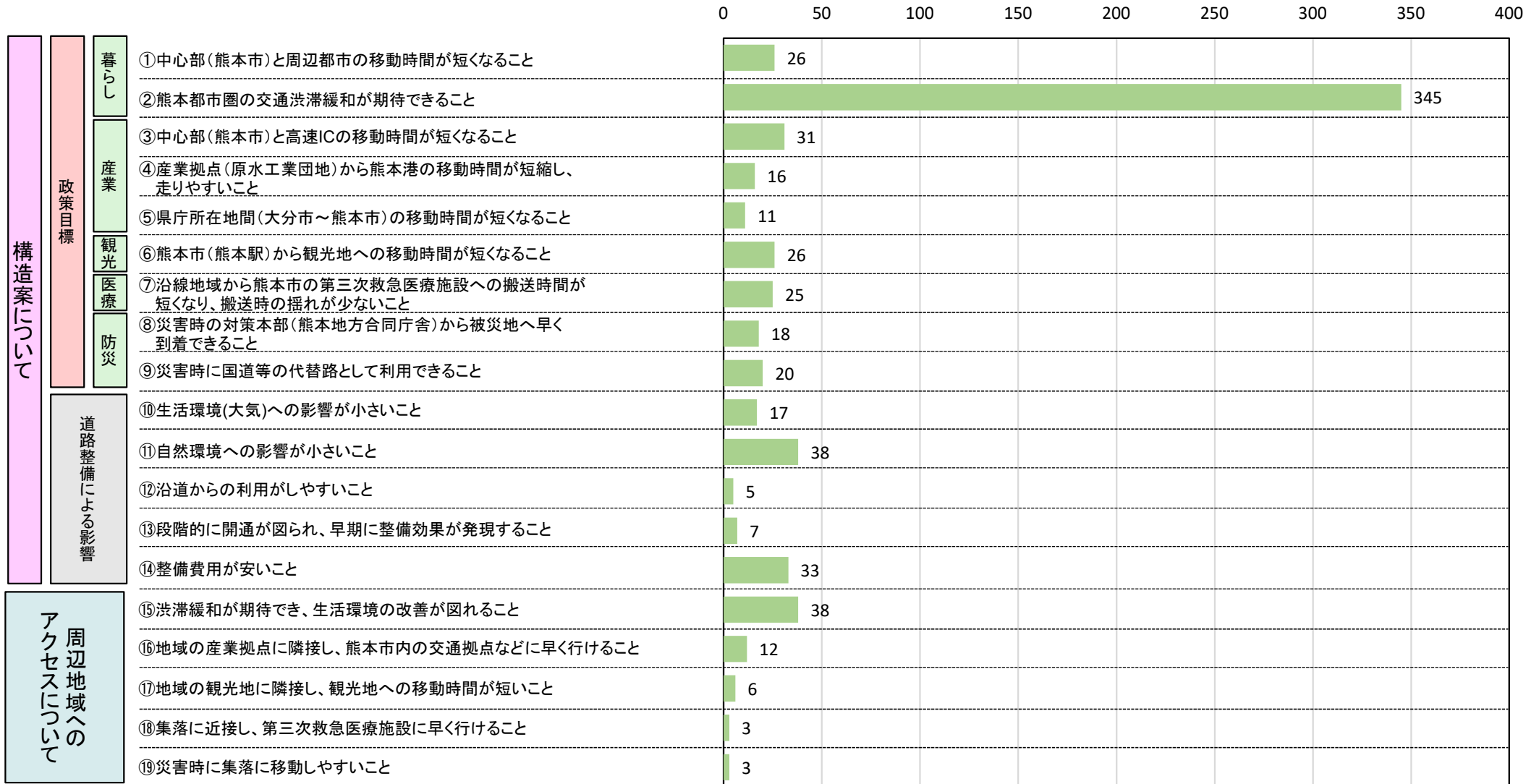


※小数点以下の処理により合計値と合わない場合がある

# 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自由意見の回収状況>

## ■重視すべき事項に関する自由意見

- 重視すべき事項の自由意見としては680意見が寄せられた。
- 政策目標については、「②熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること」に関する意見が多かった。
- 道路整備による影響については、「⑪自然環境への影響が小さいこと」「⑭整備費用が安いこと」に関する意見が多かった。
- 周辺地域へのアクセスについては、「⑮渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること」に関する意見が多かった。



# 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自由意見の回収状況>

## ■重視すべき事項に関する自由意見



### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <対策案について>

評価項目		自由意見
暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市中央区から大津町、菊池市とくに早く行けるように中九州横断道路を整備してほしい。</li> <li>九州縦貫自動車道へのアクセスが容易になれば、他県へ行きやすくなり、利用しやすいと思います。</li> <li>菊陽町周辺へ向かうときの道をもっとスムーズに行けるようにして欲しい。</li> </ul>
	② 熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤時の渋滞が緩和すると大変助かります。</li> <li>渋滞が平日も土日祝もあるので、渋滞をなくしてスムーズにしてほしい。</li> <li>渋滞が慢性化している状態であり、他都市と比較しても道路整備が遅れていると感じられる。</li> </ul>
産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大津熊本道路と熊本西環状道路を繋ぐことにより、物流・人流の定時性・速達性を確保していただきたい。早期の整備を期待しています。</li> <li>大型の車両が市街地を通らないと他の地域に行けないので、環状になって中心部の交通量が減って渋滞がなくなるとよいと思います。</li> <li>九州自動車道路の各インターチェンジと熊本市街地間の交通アクセス(距離・時間)が悪い。</li> </ul>
	④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>合志市から熊本港方面に仕事へ行くときには1.5時間かかるため、時間のロス、経費が掛かり受注を諦めることが多い。移動時間が短くなれば受注拡大につながる。</li> <li>TSMC効果を最大限活かすように熊本港や高速道路を直結して高速移動できる自動車専用道路に期待したいです。</li> <li>物流について、熊本港への移動短縮は必要かもしれないが、熊本港には定期便が少ないため、博多港等への行き来を重視すべきではないか。</li> </ul>
	⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本から大分への移動は、どの道路を通っても現在のところ大分に入るだけで片道3時間を要するので、中九州横断道路が早く開通して少しでも早く行けるようになって欲しいと思う。</li> <li>熊本～大分間がスムーズになることで他県からの観光や流通も円滑になると思うので早く整備してほしいです。</li> <li>大分へ繋がることによる時間短縮と渋滞解消の実現へ向け早急に取り組んでもらいたい。</li> </ul>
観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光については渋滞により時間が見えない状況である。高規格道路による定時性確保で地域経済発展が望まれる。</li> <li>熊本県は山(阿蘇)海(天草)と東西に離れた位置に観光地があり、熊本に来られたお客様にとって足(交通)が重要であります。</li> <li>観光よりも利便性や安全性を優先した方がいい。</li> </ul>
医療	⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急走行を行っていても渋滞が発生している場合は時間がかかる。朝・夕の搬送は特に時間がかかる。</li> <li>過去の教訓から災害時に怪我人や重症者の搬送がスムーズにできるようにインフラをしっかりと整備すべき。</li> <li>救急医療活動等、人命に特に配慮した整備をして欲しい。</li> </ul>
防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急車両等が渋滞に巻き込まれることも懸念され、今後熊本地震のような災害が起きた場合は、どうなるのか、とても心配です。</li> <li>災害に強い街づくりとして、ボトルネックに対応出来る様に整備して欲しい。</li> <li>熊本は短い距離の移動でも渋滞で移動に時間がかかる。震災の時も移動が大変だったので考慮するべきだと思う。</li> </ul>
	⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本地震の時、熊本市内の移動でいつも15分のところが2時間かかった。災害時の代替路はとても重要である。</li> <li>熊本地震での経験が活かせるような道路整備が実現すれば良いと思う。例えば、耐震性能、災害時の優先道路の整備など。</li> <li>熊本地震の時に、大学生の子供を迎えに行ったが道路が使えずとても時間がかかった。災害時に緊急車両がスムーズに移動出来るようにしてほしい。</li> </ul>
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>便利になることは大変良いことだが、環境も大切にしたい。近隣住民の生活に支障をきたさないようにしてほしい。</li> <li>大気や自然も大事ですが、工事の遅れに繋がるため、始めから影響を避けた方がよい。</li> </ul>
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間周辺は水田環境も残っており、野生動植物も生息している。可能な限りそれらに配慮した道路整備が望ましい。</li> <li>TSMC工場立地後、更に渋滞が悪化すると考えます。それにより環境に対する負担が高くなるため、新道路建設で負担低減ができるのではと考えます。</li> </ul>
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の道路からのアクセスがスムーズにいくような構造設計をお願いしたい。</li> <li>現在整備されている道路は沿道からの利用しやすさを優先しているために渋滞が常態化していると思います。</li> </ul>
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>多大な時間と税金を使うことや、費用対効果がどの程度あるのかを考えると段階的な改善が望ましいと思います。</li> <li>道路建設着工から開通まで長期間かかるケースが多々あり、新しい道路の恩恵をタイムリーに感じる機会が少ないと感じているため、個人的には道路はどこに通すかよりもいかに早く通すかが重要と考えています。</li> </ul>
	⑭ 整備費用が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストが安いに越したことはないが、安全性等を充分に考えてやってもらいたい。</li> <li>できるだけ少ない予算で新設よりも今ある道路の維持をすべき。</li> </ul>

### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <周辺地域へのアクセスについて>

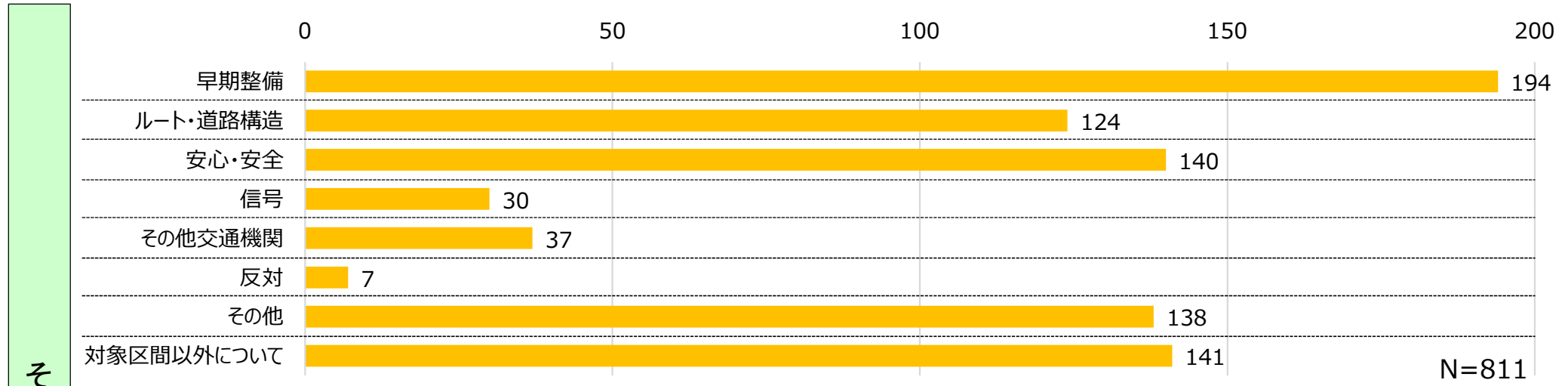
評価項目		自由意見
周辺地域へのアクセス	⑮ 渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速性を確保しつつ、沿道地域の利便性に配慮したインターチェンジなど検討して欲しいです。</li> <li>・ 渋滞が多い所なのでインターチェンジの数を増して分散するようにしてほしい。</li> <li>・ 熊本環状連絡道路区間の間で、一箇所でも地域道路とのインターチェンジを設置してもらえれば、国道3号や国道387号の渋滞が更に緩和されると思います。</li> </ul>
	⑯ 地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よく九州縦貫自動車道を仕事で使うので、九州縦貫自動車道へのアクセスが良くなることを期待します。</li> <li>・ TSMCの菊陽町進出で熊本都市圏全体の交通渋滞が心配される中、産業用車両ができるだけ自動車専用道路を利用するよう誘導すべきだ。</li> <li>・ 高速道路への接続とTSMC工場付近のスムーズな通行が重要である。</li> </ul>
	⑰ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 菊池市は県下に誇れる観光地であるが、鉄道も廃止になり熊本市方面からのアクセスも悪く、合志市の渋滞もあるため利便性が悪い。熊本環状連絡道路の計画があるなら、インターを菊池市に作っていただきアクセスを良くして欲しい。</li> <li>・ 熊本駅だけでなく、近くの植木駅や玉名駅などのアクセス向上を図り、もっと観光客が利用しやすいようにできたらいいなと思います。</li> <li>・ 検討中の道路設備にかかわらず、観光地には車が必要であり、道路が、隣接しなくても観光地まで車で向かうため、恩恵は少ないように思える。</li> </ul>
	⑱ 集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の渋滞緩和やアクセスのし易さも必要だが、特に救急搬送時等や有事の際に優先的に利用出来るような対策が必要と思う。</li> </ul>
	⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対応や救急医療施設へのアクセスの確保などを図る事が熊本県民の幸福に繋がり、九州全体、日本全体への利益なる。喫緊に迫っている東南海トラフ巨大地震などの備えをするためにも、熊本の渋滞解消、アクセス向上のために、早急に円滑な道路工事の推進を希望する。</li> </ul>



### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <重視すべき事項以外の自由意見>

■重視すべき事項以外の自由意見としては、811意見が寄せられ、「早期整備」、「ルート・道路構造」「安心・安全」に関する意見が多かった。

#### 【団体・企業、地域住民・広域的な道路利用者】

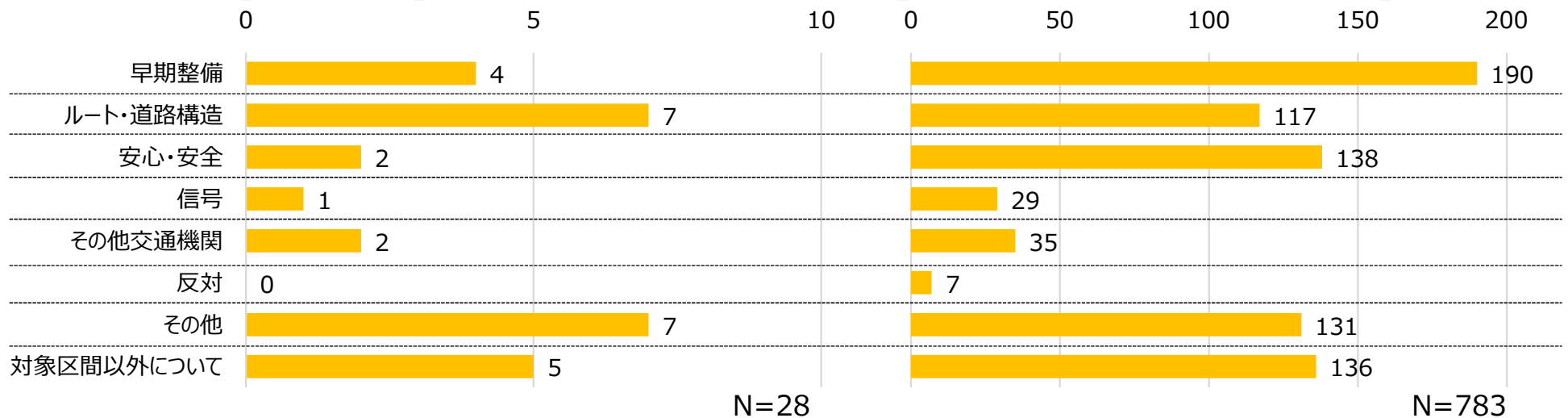


その他

#### (内訳)

#### 【団体・企業】

#### 【地域住民・広域的な道路利用者】



### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <重視すべき事項以外の自由意見>

その他	自由意見
早期整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市及び近郊の道路行政がとにかく遅れている。昔から渋滞が激しいと言われてきたが解決策が講じられてこなかった。菊陽、大津の企業誘致は成功しているのに交通環境が追いついていない。速やかに道路を整備すべき。</li> <li>大津菊陽周辺の渋滞もますますひどくなると思う。早く整備を進めて欲しい。</li> </ul>
ルート・道路構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれ自動運転技術が進化する際に、よりその普及が図りやすい自動車専用道路を整備すべきと強く思う。</li> <li>自動車専用道路の方に賛成します。一般道路を造っても、新たな渋滞が発生するだけのような気がします。生活道路と切り分けた方が良くと思います。</li> <li>案1の自動車専用道路とすべきですが、地域住民用に高速道路の両側にあるような側道が欲しいと思います。またTSMC関連で道路が整備されますが、最低でも片側2車線が必須です。</li> <li>一般道路整備案は、国道・市道と平面交差となり交通渋滞の解消につながらないので、絶対にやめてほしい。</li> </ul>
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車道の整備に力を入れて欲しい。</li> <li>歩行者、自転車、高令者等が安全に安心して通行出来る様にお願いします。</li> <li>高齢ドライバーにもわかりやすく親切な道路整備を望みます。</li> </ul>
信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>車の流れが悪いのは道路もあるが信号の時間に問題あり幹線道路に信号が多くあり横道からの信号がえらく長い。</li> <li>なるべく信号を減らし、分岐・合流車線で接続できるようにしてほしい。熊本北JCT-下硯川は自動車専用道路に賛成。</li> <li>信号が多いのが渋滞の原因にもなってると思いますので、信号が少ない道路整備をお願いします。</li> </ul>
その他交通機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画路線を経由した高速バスの路線があると熊本駅や中心市街地(桜町バスターミナル)から、福岡方面へのバスの利便性がよくなると思う。</li> <li>道路整備＝車の流れもそうですが、公共交通機関(路面電車・バス・電車)との関係も考慮すべきではと思います。</li> </ul>
反対	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい道路ができて、移動しやすくなっても、旧道にあった店は閉店し、人がいなくなるのをこれまで見てきている。</li> <li>自然環境、農業エリアを減らす必要なし。利便性向上の必要性低い。未来の九州管内移動を考えると不要。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地がたくさんあるので、いろんな施設をつくってほしい。</li> <li>路肩とか道と道の間の木草等の整備をお願いしたいといつも市内を通る度に思っています。</li> </ul>
対象区間以外について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄やJRの整備ができないのであれば、都市高速を整備すべき。使用料は福岡と同等かもしくは高くてもいい。未来を考えて計画してほしい。</li> <li>都市高速道路の整備をお願いします。バスを利用しますが、渋滞で遅れることが多いので定時運行・移動ができるように。</li> </ul>

### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

#### ■自治体への意見聴取結果【熊本県】

分類	番号	重視すべき事項	自由意見
政策目標	暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市中心部の平均旅行速度は、全国の政令指定都市(3大都市圏除く)で最も低く、交通渋滞が慢性化している。また、熊本市中心部からの放射道路においても慢性的な速度低下が発生しているため、熊本市中心部から周辺都市への移動に時間を要している。</li> <li>このため、熊本市及び沿線地域の混雑緩和及び、交流・連携機能の確保の観点から、高速性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>
		② 熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本県の主要渋滞箇所数は、九州各県の中で最も多く、このうち約8割が熊本都市圏に集中しており、交通渋滞が慢性化している。</li> <li>このため、熊本都市圏における高速性が確保され、渋滞緩和に寄与できる道路構造が望ましい。</li> </ul>
	産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市中心部から近隣ICまでの所要時間は、福岡都市圏や広島都市圏と比較して最大約4倍となっており、アクセス機能が脆弱であるため、物流機能の低下につながっている。</li> <li>このため、高速道路ICへのアクセス性の改善を図る観点から、高速性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業拠点(原水工業団地)から製造品を熊本港まで輸送する際、交通状況によっては多くの時間を要している。中九州横断道路と熊本西環状道路が高規格道路で結ばれば、輸送時間が大幅に短縮され、博多港などの競争力が強化されるとともに、さらなる企業誘致が期待できる。また、輸送時の揺れによる精密機械等の品質低下を防ぐことが期待されるため、高速性・定時性・走行性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本市～大分市は県庁所在地間であるにも関わらず、高速交通ネットワークが未整備で、主要幹線道路は一般国道57号のみとなっており、代替ルートもない。</li> <li>このため、移動時間の短縮とリダンダンシー確保の観点から、高速性・安全性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>
	観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本城や熊本駅が立地する熊本市中心部から、「阿蘇くじゅう国立公園」をはじめ、「世界農業遺産」等に認定された阿蘇や数多くの温泉地など日本を代表する観光資源へアクセスする際、熊本市内や国道57号の渋滞により移動に多くの時間を要している。</li> <li>このため、観光地までの高速性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>
		⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇地域の救急患者は熊本市内の第三次救急医療施設へ搬送されているが、平均搬送時間が1時間を超えるなど長時間を要している。また、患者への負担にならないよう、搬送時の揺れが少ないことが求められる。</li> <li>このため、救急医療施設への搬出時間の短縮が図られるとともに、安静に搬送できる走行性の高い道路構造が望ましい。</li> </ul>
	防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ地震時には、現地対策本部(熊本地方合同庁舎B棟)が設置されるなど、熊本市周辺に防災拠点としての指令機能が集積しており、加えて、熊本港においては、今後、耐震岸壁の整備が進められ、熊本都市圏における防災拠点としての役割が期待されるが、災害発生時の交通集中により、救援活動や支援物資の輸送に支障をきたす恐れがある。</li> <li>このため、被災地の迅速な救援活動を行うことを可能とする、速達性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>
		⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>H24九州北部豪雨やH28熊本地震の際には、熊本県と大分県を結ぶ重要な緊急輸送ルートである国道57号が通行止めとなり、救援活動や支援物資の輸送に支障をきたした。</li> <li>このため、災害時におけるリダンダンシー確保の観点から、強靱で信頼性の高い道路構造が望ましい。</li> </ul>
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号による車両の停車・発進や速度低下はCO2排出量増加の要因となるため、生活環境(大気)への影響の観点から、高速性に配慮した道路構造が望ましい。</li> </ul>	
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間周辺地域は農地が多く、雑木林も存在しているため、自然環境(山林や田畑の改変など)や生態系への影響が最小限となるような道路構造が望ましい。</li> </ul>	
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>速達性・走行性・安全性が高い自動車専用道路が必要と考えており、西合志IC～下硯川IC間(約9km)において、沿道からの利便性を考慮したICを設置することが望ましい。</li> </ul>	
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象区間が短いため、部分開通ではなく、早期に全線開通し、整備効果を最大限に発揮できるように整備することが望ましい。</li> </ul>	
	⑭ 整備費用が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>速達性・走行性・安全性が高い道路が必要と考えており、ライフサイクルコストを考慮したうえで、可能な限りコスト削減を図るなど、経済的な道路構造となることが望ましい。</li> </ul>	

### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

#### ■自治体への意見聴取結果【熊本県】

分類	番号	重視すべき事項	自由意見
周辺地域へのアクセス	⑮	渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	・熊本都市圏では交通渋滞が慢性化しており、日常生活の移動に支障をきたしているため、生活環境改善の観点から、熊本都市圏における高速性の確保に配慮した計画にすることが望ましい。
	⑯	地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	・製品の品質保持や輸送効率の向上による地域産業支援のため、地域の産業拠点と熊本港などの交通拠点間において輸送時間の短縮が図られる計画にすることが望ましい。
	⑰	地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・阿蘇地域をはじめとする熊本を代表する観光地への円滑な移動を確保するため、自動車専用道路の場合は、沿線地域からのアクセスに配慮したICを設置することが望ましい。
	⑱	集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	・第三次救急医療施設まで患者を早く搬送できるよう、沿線地域から速やかにアクセスでき、救急医療施設への搬送時間の短縮が図られる計画にすることが望ましい。
	⑲	災害時に集落に移動しやすいこと	・大規模災害時に現道が被災した際でも、人命救助や物資の輸送を円滑に行えるよう、沿線地域からのアクセスに配慮した計画にすることが望ましい。

#### ■その他意見・要望

- ・中九州横断道路は、大規模災害に対応できる「命の道」、九州全体の経済を支える「経済の道」、そして沿線市町村の「地方創生の道」として、大きな効果が期待される非常に重要な道路です。特に、中九州横断道路沿線の菊陽町では、世界的半導体企業であるTSMC関連工場の建設が進められており、この進出を契機として、本県の経済活性化はもとより、シリコンアイランド九州の復活、さらには、日本の「経済安全保障」へとしっかりつなげていくためにも、中九州横断道路の早期整備が必要です。
- ・熊本環状連絡道路は、中九州横断道路の一部となり、半導体生産拠点や世界的観光地である阿蘇への速達性・走行性・安全性の高い道路としての整備が必要と考えています。加えて、西合志IC～下硯川IC間(約9km)について、沿道からのアクセスが困難とならないよう、沿道からの利便性を考慮したICを設置して頂きますようお願いいたします。
- ・本県としても、中九州横断道路の更なる事業促進を図るため、地元調整に万全を期す所存でございますので、今後も早期事業化に向け、手続きをより一層加速して頂きますようお願い申し上げます。

# 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

## ■自治体への意見聴取結果【熊本市】

分類	番号	重視すべき事項	自由意見
政策目標	暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	・熊本市と菊池市・大津町など都市圏北東部地域との間は、通勤などの交通流動が多く、移動時間の短縮は重視すべき。
		② 熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること	・熊本市中心部の平均旅行速度や主要渋滞箇所数は政令指定都市の中で最悪の水準であり、市民生活に深刻な影響を与えているため、交通渋滞緩和は重視すべき。
	産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	・熊本市中心部と高速道路インターチェンジのまでの移動時間が読めないことから、物流の効率が悪く地域経済に影響を与えていることから重視すべき。
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	・企業立地が進む中、産業拠点と物流の拠点である熊本港間の速達性・定時性を確保することは重視すべき。
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	・県庁所在地間の交流・連携を深め、産業等の地域経済の活性化を図る上で重視すべき。
	観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	・熊本駅からレンタカーで阿蘇方面に向かう観光客は多く、速達性を高め移動時間を短縮することは観光需要を高めるため重視すべき。
	医療	⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	・熊本市の第三次緊急医療施設への搬送時の患者への負担軽減や救命率向上となる速達性確保は重視すべき。
	防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	・被災地への迅速な救助・復旧・支援などのために重視すべき。
		⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	・熊本地震において幹線道路で災害支援物資の輸送や復旧活動に支障が生じたため、多重性や代替性・速達性を担う道路ネットワークは重視すべき。
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	・沿線地域には集落が点在していることから生活環境への配慮が必要である。	
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	・農地が多く存する地域であるため農作物への影響や、自然環境への配慮が必要である。	
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	・地域住民の利便性を高めるため、アクセス性が高いことが望ましい。	
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	・段階的で、早期の効果発現が見込まれることが望ましい。	
	⑭ 整備費用が安いこと	・地域課題を解決し、政策目標を達成するための適切な道路構造としたうえで、コスト縮減に努めていただきたい。	
周辺地域へのアクセス	⑮ 渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	・渋滞による生活環境の改善を図るために、走行性を高めるとともにアクセス性を重視すべき。	
	⑯ 地域の産業拠点到隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	・半導体関連誘致のための産業用地候補地に近接しており、交通拠点(高速道路インターチェンジ)や熊本市中心部へのアクセス性を高めることは重視すべき。	
	⑰ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・全国的に有名なすいかの名産地である「道の駅 すいかの里植木」や熊本市内唯一の宿泊施設がある「植木温泉」など観光地への移動短縮及びアクセス性を高めることは重視すべき。	
	⑱ 集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	・熊本市内の第三次緊急医療施設まで患者を早く安全に搬送できるよう走行性・アクセス性を高めることは重視すべき。	
	⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと	・災害時の迅速な復旧・救助・支援等のため、集落へのアクセス性を高めることは重視すべき。	

## ■その他意見・要望

- ・対象となる地域には集落や河川、農地等が存するため、地域分断や自然環境、土地利用などへの配慮をお願いしたい。
- ・工事中における工事車両や交通量の増加に伴う安全性に配慮していただきたい。
- ・工事中における現道の混雑や渋滞及び歩行者の安全性に配慮していただきたい。
- ・沿線地域の利便性向上、経済活性化等のため、インターチェンジ設置によるアクセス性向上に配慮していただきたい。

### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

#### ■自治体への意見聴取結果【菊池市】

分類	番号	重視すべき事項	自由意見
政策目標	暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	・交通渋滞緩和の為の構造案の検討は重視すべきであり、それにより中心部と周辺都市との移動時間短縮につながると考えられる。
		② 熊本市圏の交通渋滞緩和が期待できること	・交通渋滞緩和の為の構造案の検討は重視すべきであり、それにより中心部と周辺都市との移動時間短縮につながると考えられる。
	産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	・経済効果の観点から重視すべき事項と考える。
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	・移動時間短縮については円滑な物流に寄与する観点から考慮する必要がある。
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	・移動時間短縮については円滑な物流に寄与する観点から考慮する必要がある。
	観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	・より多くの集客につなげる観点から、考慮する必要がある。
	医療	⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	・搬送時間短縮及び搬送時の揺れの少なさについては人命に関わる側面を有している為重視すべき事項と考える。
	防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	・災害時の被害拡大防止の観点からも重要である。
		⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	・国道通行不能となった際、代替路として使用可能であることは重要と考えられる。ただ、中九州横断道路へのアクセスについては国道や県道經由が主であり、代替路までの道路経路確保については課題と考える。
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	・生活環境(大気)については境界がなく、道路整備に関する生活環境への影響は最小限にとどめる必要がある。	
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	・自然環境へ一定の影響は想定されるものの、必要最小限とする必要がある。	
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	・利用のしやすさについては交通事故防止の観点からも重要である。	
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	・段階的な開通についてはある程度重視すべき項目と考える。	
	⑭ 整備費用が安いこと	・最重要項目ではないものの、整備後の維持管理も考えた際にある程度重視すべき項目と考えられる。	
周辺地域へのアクセス	⑮ 渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	・渋滞緩和については重視すべき。	
	⑯ 地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	・渋滞緩和の効果が得られれば移動時間短縮につながることが期待される。	
	⑰ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・より多くの集客につなげる観点から、考慮する必要がある。	
	⑱ 集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	・人命に関わる側面を有している為重視すべき事項と考える。	
	⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと	・人命に関わる側面を有している為重視すべき事項と考える。	

#### ■その他意見・要望

・菊池市は市街地中心部を国道が走っており、交通量が多くなっていることが特長の一つとして挙げられます。また、本市の北側に位置する山間部においては、国道387号線及び県道を幹線として各地区・集落へ枝分かれする形で道がつながっております。交通情勢としては昨今、TSMCに関連した企業進出に伴い国道沿いを中心とした開発行為が行われており、本市においてもその影響を少なからず受けている側面があると考えられます。とりわけ国道325号線は本市から中九州横断道路への主要なアクセスルートとなっておりますが、時間帯によっては渋滞が見受けられるところもあります。

・中九州横断道路の整備に伴い、上述の状況が改善されることが期待されます。

### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

#### ■自治体への意見聴取結果【合志市】

分類	番号	重視すべき事項	自由意見
政策目標	暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	・通勤、通学等の朝夕渋滞しているため、高速性に配慮することが望ましい。
		② 熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること	・道路整備により、幹線道路の渋滞が緩和し、生活道路に流れ込んでいる通勤車両等の通行量や事故の危険性も減少し、生活環境の改善が期待できる。
	産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	・揺れに弱い精密機械や農産物の輸送に適した道路とすることが望ましい。
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	・高速性や走行性の確保は、新たな企業誘致への有利な条件となるため、雇用創出が期待できる。
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	・経済が活発化し、九州全体で良い効果が期待できる。
	観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	・中九州横断道路が繋がることで、九州新幹線で来熊される観光客の合志や阿蘇へのアクセス性が向上し、観光需要が増加することで熊本の魅力が広く伝わることに期待している。
	医療	⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	・緊急医療機関への速達性・確実性の向上に期待している。沿線地域は、熊本市内の三次救急医療施設に依存していることから、速達性の確保が課題である。
	防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	・道路ネットワークの形成により、対策本部から被災地への速達性向上が期待できる。
		⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	・災害時の緊急輸送路として、国道57号以外の路線が必要である。別線整備により、災害時における信頼性の高い代替路や避難路が確保されることで、地域の安全性向上に繋がる。
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	・騒音や振動などの生活環境が悪化しないことが望ましい。地域住民への影響が最小限となるような配慮が必要である。	
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	・自然環境への影響は極力少ないことが望ましい。	
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	・沿線の集落や施設からのアクセス性を確保する必要がある。	
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	・部分的な供用開始ができ、早期に経済効果が出ることを望ましい。	
	⑭ 整備費用が安いこと	・適切な道路構造とした上で、早期整備のためにも、整備費用が安価となることを望ましい。	
周辺地域へのアクセス	⑮ 渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	・熊本市内の渋滞解消のため、通過交通が減るような道路整備に期待している。	
	⑯ 地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	・高速性や走行性の確保は、新たな企業誘致への有利な条件として提示でき、雇用創出が期待できる。	
	⑰ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・阿蘇や菊池方面へのアクセスが向上し、移動時間短縮により滞在時間が確保できることで、観光振興が期待できる。	
	⑱ 集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	・熊本市等への速達性の確保のため、集落からのアクセスに配慮が必要である。	
	⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと	・集落に隣接することで速達性の確保が期待でき、災害時においても緊急輸送道路として利用できることが望ましい。	

#### ■その他意見・要望

- ・沿線地域としては、早期全線開通が悲願であるため、早期事業化を望みます。
- ・周辺地域の利便性向上、地場産業の活性化や第三次救急医療施設への高速性・速達性の確保のためインターチェンジの設置を望みます。

### 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

#### ■自治体への意見聴取結果【菊陽町】

分類	番号	重視すべき事項	自由意見
政策目標	暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	・朝夕の通勤時間での交通渋滞の分散が必要である。熊本市中心部へのアクセスがよくなれば地域の利便性向上につながる。
		② 熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること	・道路整備により、交通量の分散及び渋滞緩和に期待できる。
	産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	・経済効果の向上のため重要である。
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	・速達性・走行性・安全性の確保が必要である。
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	・熊本県だけではなく、九州全体で経済効果が期待できる。
	観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	・より多くの集客につながる。また、観光需要も高まる。
	医療	⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	・緊急医療機関への速達性・確実性の向上が期待できる。
	防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	・被災地への速達性の向上、迅速な救助や復旧にもつながる。
		⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	・緊急輸送道路である国道57号以外にも代替路として使用可能なことは重要である。
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	・騒音や振動などで生活環境が悪化しないことが望ましい。	
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	・自然環境へは必要最小限で道路整備をすることが望ましい。	
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	・地域住民の利便性向上のため、アクセス性が高いことが望ましい。	
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	・段階的な共用開始など、早期に経済効果が発揮できることが望ましい。	
	⑭ 整備費用が安いこと	・早期の整備完了、また整備後の維持管理も含めコスト縮減することが望ましい。	
周辺地域へのアクセス	⑮ 渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	・渋滞が緩和されるような道路整備を期待する。	
	⑯ 地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	・企業誘致などを考えると、高速性や走行性の確保は必要である。	
	⑰ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・阿蘇や菊池方面へのアクセス向上につながる。観光需要が高まる。	
	⑱ 集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	・走行性・アクセス性を高めることが重要である。	
	⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと	・災害時には、迅速な救援活動、物資輸送が必要である。	



# 3-3. 意見聴取で寄せられた自由意見 <自治体への意見聴取結果>

## ■自治体への意見聴取結果【大津町】

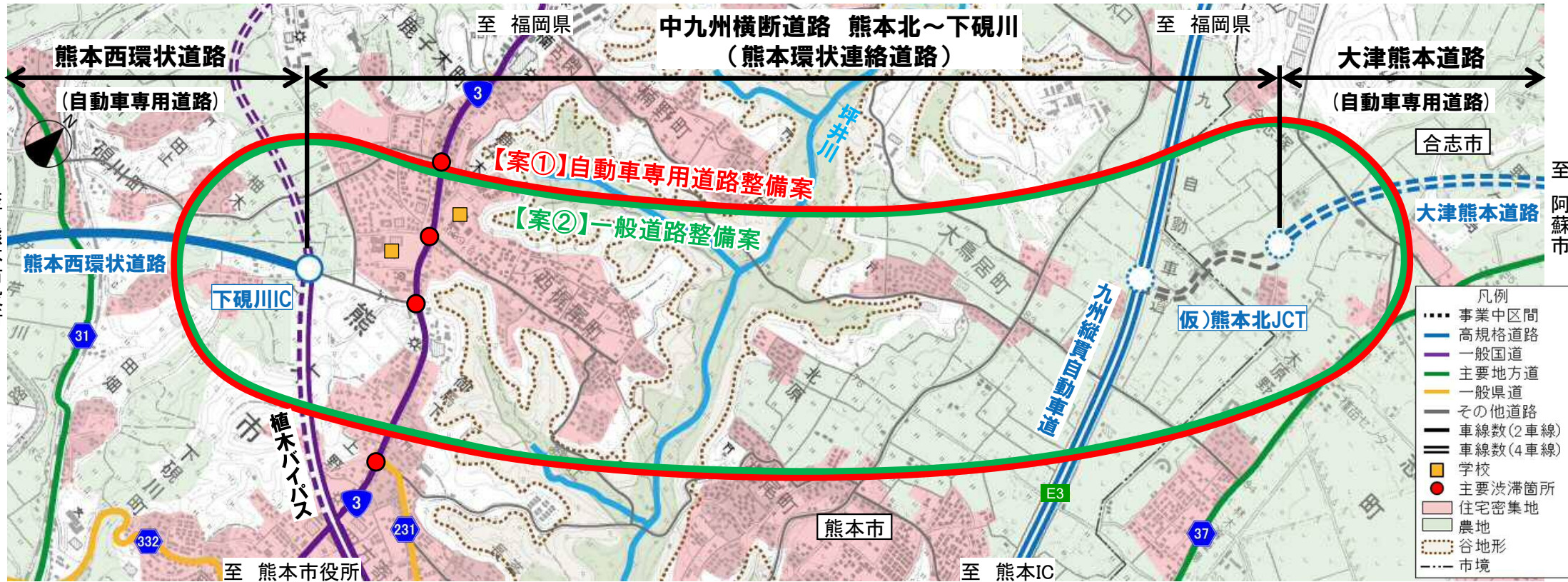
分類	番号	重視すべき事項	自由意見
政策目標	暮らし	① 中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること	・熊本市中心部へのアクセスが良くなることで、地域の利便性が向上することが期待できるため重要である。
		② 熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること	・複数のルートを選択することができ、交通量も分散されるため渋滞緩和が期待できることから重要である。
	産業	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間が短くなること	・大津町内の企業にとっても大津熊本道路と一体で整備されることで更に効果が高まるため重要である。
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港の移動時間が短縮し、走りやすいこと	・大津町内の企業にとっても大津熊本道路と一体で整備されることで更に効果が高まるため重要である。
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間が短くなること	・中九州横断道路が全線整備されることで、大分方面への輸送の効率化が図られ、地域産業の更なる発展が期待されるため重要である。
	観光	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間が短くなること	・熊本市から観光地への移動時間が短くなることで回遊性が高まり、観光地の選択肢が増えることが期待される。
	医療	⑦ 沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと	・大津熊本道路と一体で整備されることで渋滞箇所を回避でき、搬送時の揺れも軽減され安静に搬送することが出来るようになる。
	防災	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること	・熊本地震においてもTEC-FORCEの派遣により被害状況の迅速な把握、調査により、被災自治体への復旧支援がなされたため、被災地への早期到着は重要である。
		⑨ 災害時に国道等の代替路として利用できること	・国道57号及び中九州横断道路の2つの横軸があることでリダンダンシーが確保され、緊急輸送路として機能を果たし、地域の安全性の向上が期待される。
道路整備による影響	⑩ 生活環境(大気)への影響が小さいこと	・大気や騒音、振動等により生活環境が悪化しないことが望ましい。	
	⑪ 自然環境への影響が小さいこと	・自然環境への影響が小さいルートが望ましい。	
	⑫ 沿道からの利用がしやすいこと	・インターチェンジから主要道路へ円滑に接続ができることで周辺地域の利便性が高まる。	
	⑬ 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が発現すること	・部分的な開通が出来るのであれば段階的な効果発現が見込めるため望ましい。	
	⑭ 整備費用が安いこと	・整備に要する費用については、安価であることが早期の整備完了に繋がるため望ましい。	
周辺地域へのアクセス	⑮ 渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること	・熊本環状連絡の整備により周辺地域に用のない車両が既存道路を通行することがなくなり、交通が分散することや、都市部に流入する大型車両も低減することで生活環境の改善が図れることが望ましい。	
	⑯ 地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること	・輸送効率の向上による地域産業の支援のため、産業拠点への輸送時間の短縮が図られる位置にインターチェンジを配置することが望ましい。	
	⑰ 地域の観光地に隣接し、観光地への移動時間が短いこと	・観光地への定時性が確保できるよう、インターチェンジと周辺幹線道路が円滑に接続できることが望ましい。	
	⑱ 集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること	・救急搬送においては、搬送時間の短縮を図れるようインターチェンジが沿線集落から利用しやすい位置にあることが望ましい。	
	⑲ 災害時に集落に移動しやすいこと	・災害時において、緊急輸送道路としての機能を発現するためにもインターチェンジから集落までのアクセスがしやすいことが望ましい。	

## ■その他意見・要望

・中九州横断道路は、九州の横軸として重要な高規格道路であり、リダンダンシーの確保できる「命の道」でもあり、熊本市から大津町の沿線には多くの企業が立地し県内の製造品出荷額の6割を占める地域であり「物流の道」としての期待も大きく、世界的な観光地である阿蘇を結ぶ「観光の道」でもあります。大津町周辺につきましては、朝夕の渋滞が慢性化しており、菊陽町に半導体受託生産最大手のTSMCが進出し関連企業の立地も想定され、今後も更なる渋滞が予測されます。中九州横断道路が整備されることで、交通量の分散や、市内中心部へのアクセス向上も期待され地域住民の利便性も高まりますので、熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)の早期事業化、大津熊本道路の早期着工及び、大津～大津西区間の早期事業化につきましてよろしくお願いたします。

## 4. 対応方針(案)の検討

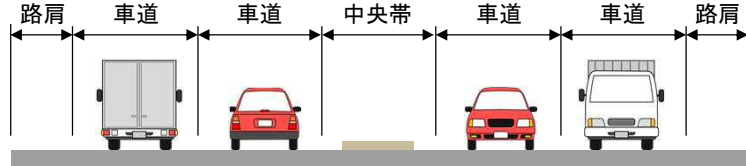
# 4-1. 対応方針(案)の検討(複数案の比較)



## 【案①】自動車専用道路整備案

国道・市道と立体で交差し、全線自動車専用で整備することで高速性に配慮した案

【横断面(イメージ)】



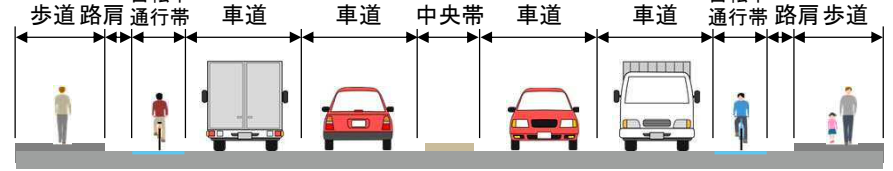
【平面図(イメージ)】



## 【案②】一般道路整備案

国道・市道と平面で交差し、沿道利用に配慮した案

【横断面(イメージ)】







【平面図(イメージ)】



# 4-1. 対応方針(案)の検討(複数案の比較)

■比較評価の結果、意見聴取結果にて重要視されている全ての政策目標の達成が見込めるほか、道路整備による影響でも生活環境への影響や経済性に優れていることから、ルート帯案については、【案①】自動車専用道路整備案を対応方針(案)とする。

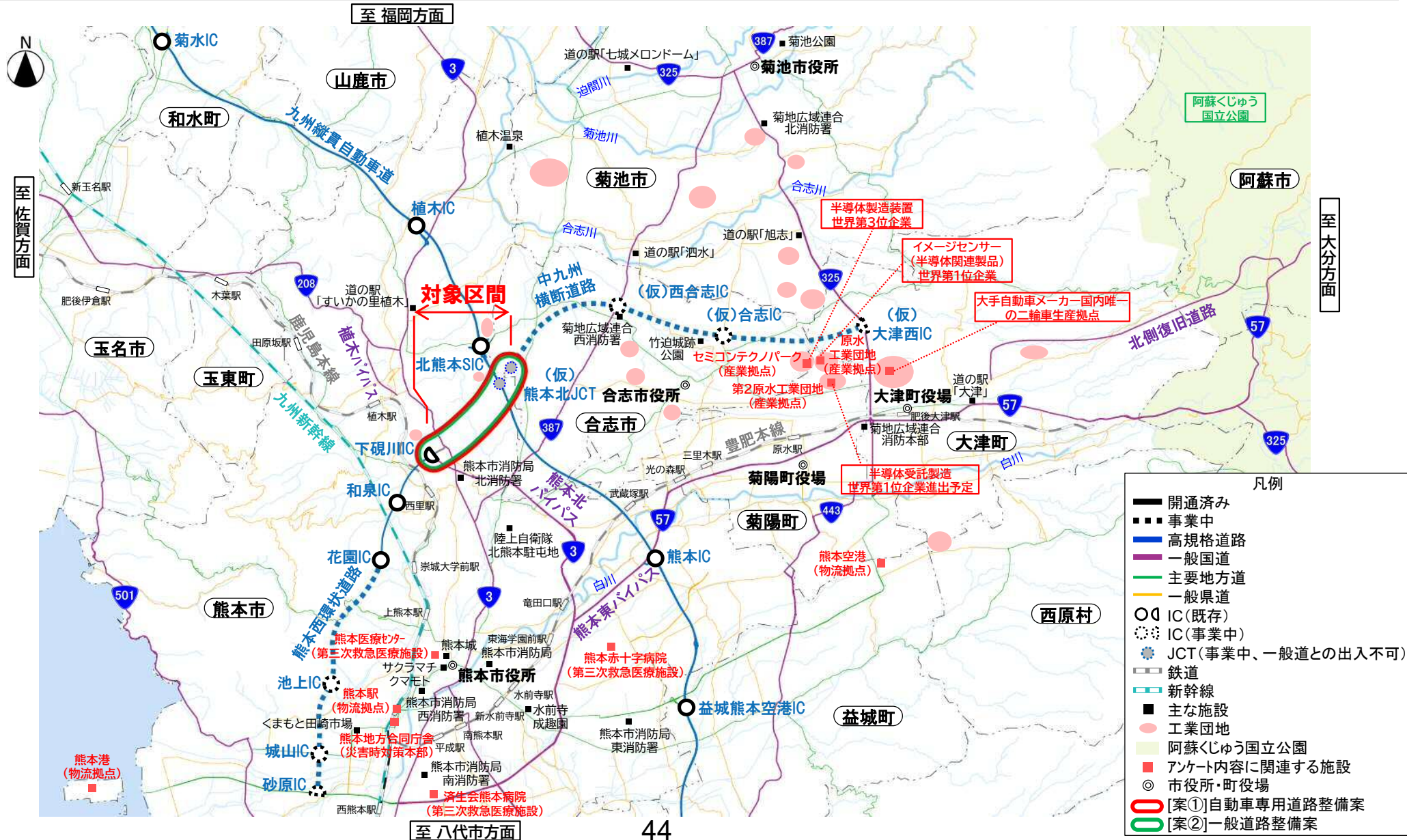
評価項目		【案①】自動車専用道路整備案		【案②】一般道路整備案	
		国道・市道と立体で交差し、全線自動車専用で整備することで高速性に配慮した案		国道・市道と平面で交差し、沿道利用に配慮した案	
項目		【横断面】 		【横断面】 	
評価指標		【平面図(イメージ)】 交差点なし 		【平面図(イメージ)】 交差点あり 	
暮らし	高速性確保・渋滞緩和による生活環境の改善	① 中心部(熊本市)と周辺都市(合志市)の移動時間	○ 中心部と周辺都市の移動時間の短縮が図られる(整備前 約54分 ⇒ 整備後 約34分)	△	中心部と周辺都市の移動時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る(整備前 約54分 ⇒ 整備後 約39分)
		② 熊本都市圏の交通渋滞緩和	○ 別線整備により交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞緩和が見込まれる	△	別線整備により交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞緩和が見込まれるものの、対象道路に生活交通が残存し、通過交通と混在するため効果は案①に劣る
産業	高速性・定時性・走行性確保による産業の活性化	③ 中心部(熊本市)と高速ICの移動時間【広域物流の効率化】	○ 中心部と高速道路(九州道)間の移動時間の短縮が図られ、長距離輸送の効率が向上する(整備前(熊本IC) 約34分 ⇒ 整備後(熊本北JCT(仮)) 約20分)	△	中心部と高速道路(九州道)間の移動時間の短縮が図られ、長距離輸送の効率が向上するが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る(整備前(熊本IC) 約34分 ⇒ 整備後(熊本北JCT(仮)) 約25分)
		④ 産業拠点(原水工業団地)から熊本港への移動時間・定時性・走行性【物流拠点の利便性向上】	○ 産業拠点と熊本港の移動時間の短縮が図られ、物流拠点への定時性が向上する(整備前 約61分 ⇒ 整備後 約42分) 自動車専用道路であるため、走行性の向上が見込まれる	△	産業拠点と熊本港の移動時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下や定時性への影響が発生する(整備前 約61分 ⇒ 整備後 約47分) 一般道路であるため、走行性は案①に劣る
		⑤ 県庁所在地間(大分市～熊本市)の移動時間【沿線地域間の輸送効率化】	○ 大分市と熊本市間の移動時間の短縮により、沿線地域の輸送効率化が図られる(整備前 約188分 ⇒ 整備後 約171分)	△	大分市と熊本市間の移動時間の短縮により、沿線地域の輸送効率化が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る(整備前 約188分 ⇒ 整備後 約176分)
観光	高速性の確保による観光振興の促進	⑥ 熊本市(熊本駅)から観光地への移動時間	○ 熊本市(熊本駅)と観光地との移動時間の短縮が図られる(熊本駅～阿蘇市間 整備前 約96分 ⇒ 整備後 約70分)	△	熊本市(熊本駅)と観光地との移動時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る(熊本駅～阿蘇市間 整備前 約96分 ⇒ 整備後 約75分)
医療	救急医療機関等への速達性の向上	⑦ 沿線地域※1から第三次救急医療施設(熊本医療センター)への搬送時間・速達性	○ 沿線地域※1からの搬送時間の短縮が図られる(阿蘇市～熊本医療センター間 整備前 約97分 ⇒ 整備後 約81分) 自動車専用道路であるため、速達性の向上が見込まれる	△	沿線地域※1からの搬送時間の短縮が図られるが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る(阿蘇市～熊本医療センター間 整備前 約97分 ⇒ 整備後 約86分) 一般道路であるため、速達性は案①に劣る
防災	災害に強い道路ネットワークの形成	⑧ 災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地(防災拠点:道の駅旭志)への速達性	○ 道路ネットワークの形成により、災害時の対策本部から被災地への速達性が向上する(整備前 約77分 ⇒ 整備後 約33分)	△	道路ネットワークの形成により、災害時の対策本部から被災地への速達性が向上するが、平面交差点や沿道利用交通の流入による速度低下が発生するため案①に劣る(整備前 約77分 ⇒ 整備後 約38分)
		⑨ 災害時の代替機能の確保	△ 別線整備により代替路が確保される ○ ICアクセスに限定されるため、災害時の各地点へのアクセス性の点で案②に劣る	○	別線整備により代替路が確保される ○ 平面交差で集落周辺を通過するため、災害時の各地点へのアクセス性の点で案①より優れる
道路整備(影響)	⑩ 生活環境(大気)への影響	○	信号による停車・発進が発生しないため、大気等への影響は小さい	×	信号による停車・発進が発生するため、案①に比べて大気等への影響が大きい
	⑪ 自然環境の保全(動植物への影響)	×	自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある	×	自然環境を考慮すべき箇所を通過するため、自然環境に影響を与える可能性がある
	⑫ 沿道利用	×	沿道からの利用は、ICからのアクセスに限定される	○	国道3号や市道と平面交差するため、沿道住民が利用しやすい
	⑬ 段階的な効果の発現	×	部分的な開通ができないため、段階的な効果発現が見込めない	○	平面交差であるため、交差点間で開通した箇所から効果発現が見込める
	⑭ 経済性	○	約400～500億円	×	約450～550億円

※1・・・沿線地域(菊池・阿蘇地域)

○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べ劣る  
  : 他案に比較し優位   : 意見聴取で重視すべきとされている上位の項目

# 4-1. 対応方針(案)の検討(周辺地域の状況)

- 対象区間は、熊本市中心部と菊池地域(菊池市、合志市、菊陽町、大津町)を結ぶ区間。
- 対象区間東側は、工業団地が多く存在し、日本有数の企業の立地や半導体受託製造世界第一位の企業も進出予定である工業地域。
- 対象区間南側は、主要な駅や港、県内で熊本市のみに立地する第三次救急医療施設など、多くの機能が集中する県内最大の都市部。



# 4-1. 対応方針(案)の検討(周辺地域へのアクセスの検討)

## 【周辺地域へのアクセスの考え方】

・【案①】自動車専用道路整備案では、周辺地域へのアクセスにおいて、ICからのアクセスに限定されることから、地域の意見を踏まえて、渋滞緩和が期待できる生活環境の改善が図れること、周辺の集落や地域の産業拠点に近接し、第三次救急医療施設や熊本市内の交通拠点へのアクセス性や災害時に周辺の集落や防災拠点へのアクセス性を確保するため、IC設置を検討

## 【起点部のICの検討(IC検討位置①)】

■ 起点側のIC検討位置①については、以下の点に配慮しIC設置を検討

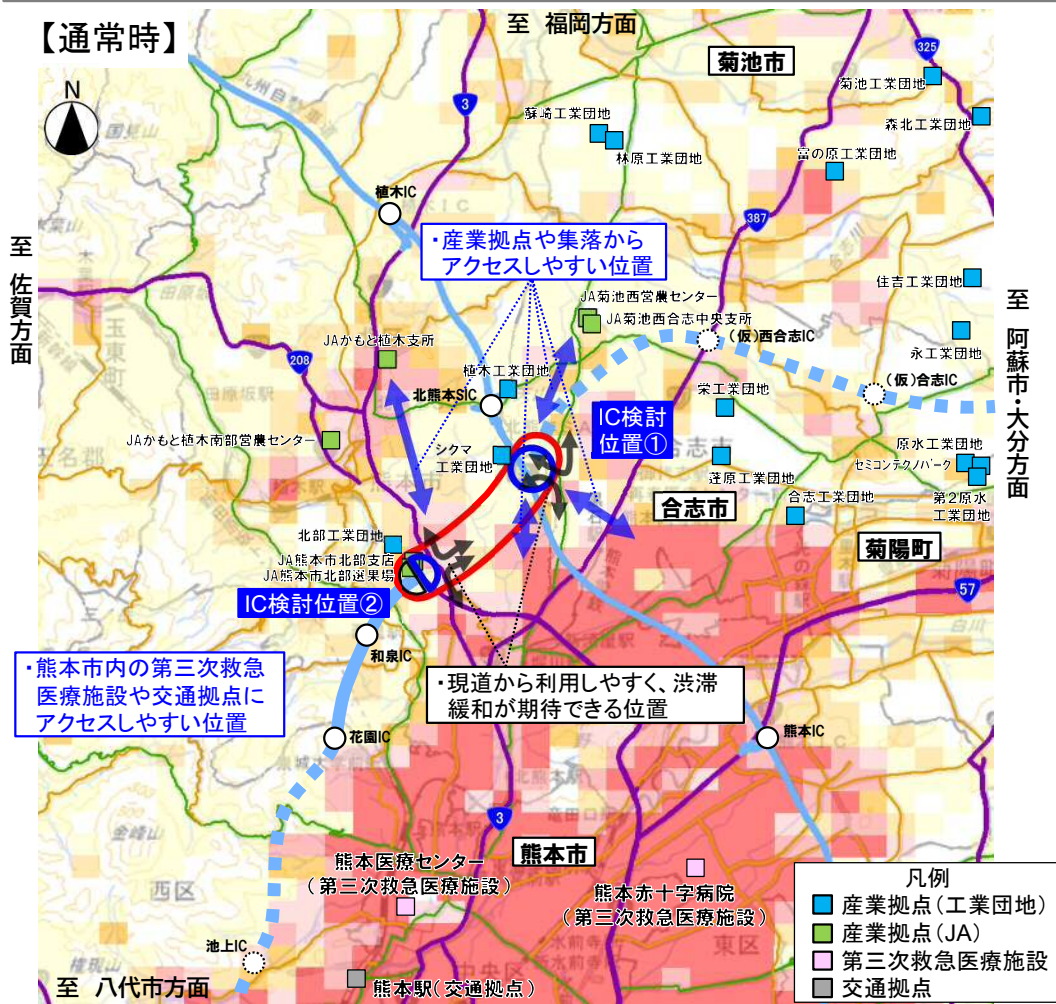
通常時：渋滞緩和が期待できる位置。また、周辺の集落や地域の産業拠点に近接し、熊本市内の第三次救急医療施設や交通拠点にアクセスしやすい位置

災害時：災害時の迅速な復旧・救助・支援等のため、周辺の集落や防災拠点にアクセスしやすい位置

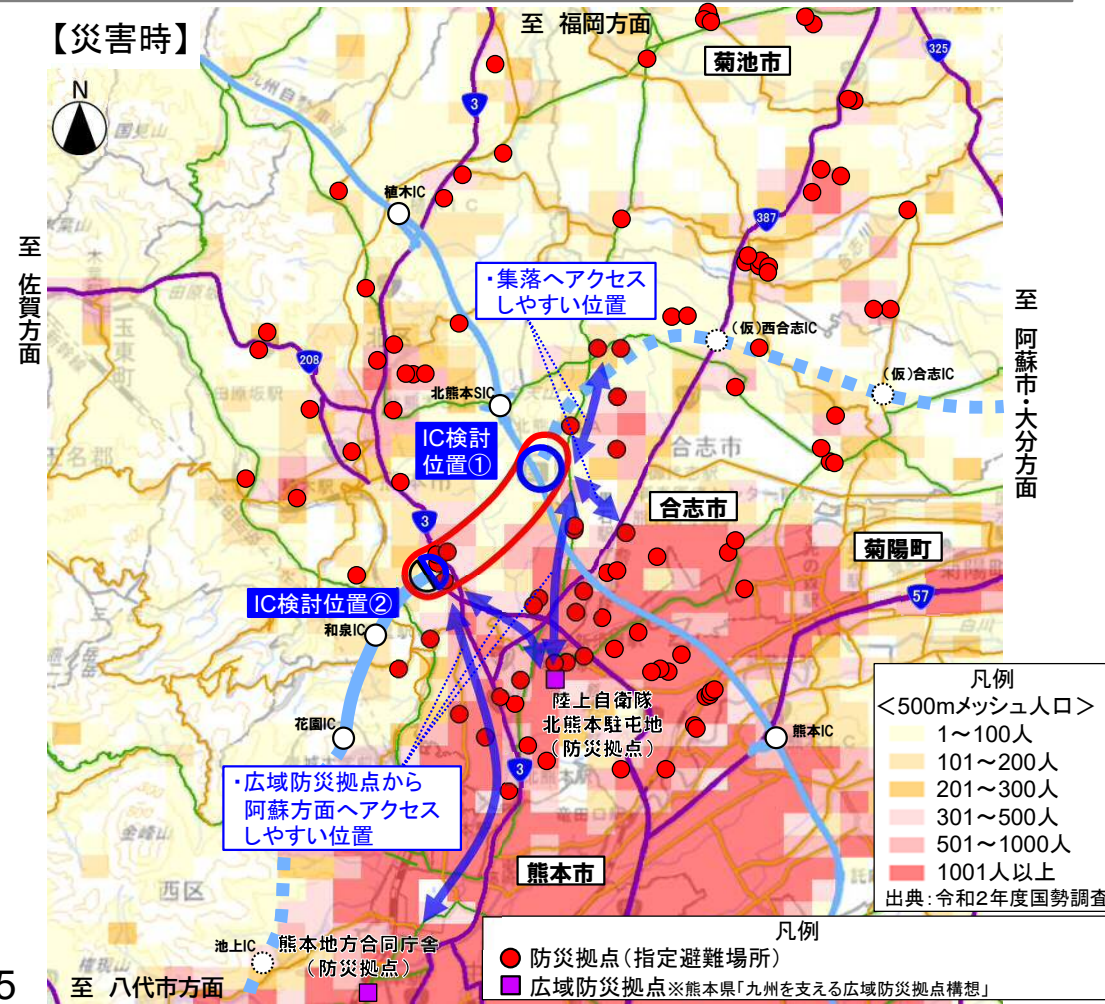
## 【終点部のICの検討(IC検討位置②)】

■ 終点側の下硯川ICは、ハーフICであるが、周辺の集落や地域の産業拠点からのアクセス性や災害時に熊本市街地の防災拠点からのアクセス性に配慮し、阿蘇方面へのIC設置を検討

### 【通常時】



### 【災害時】



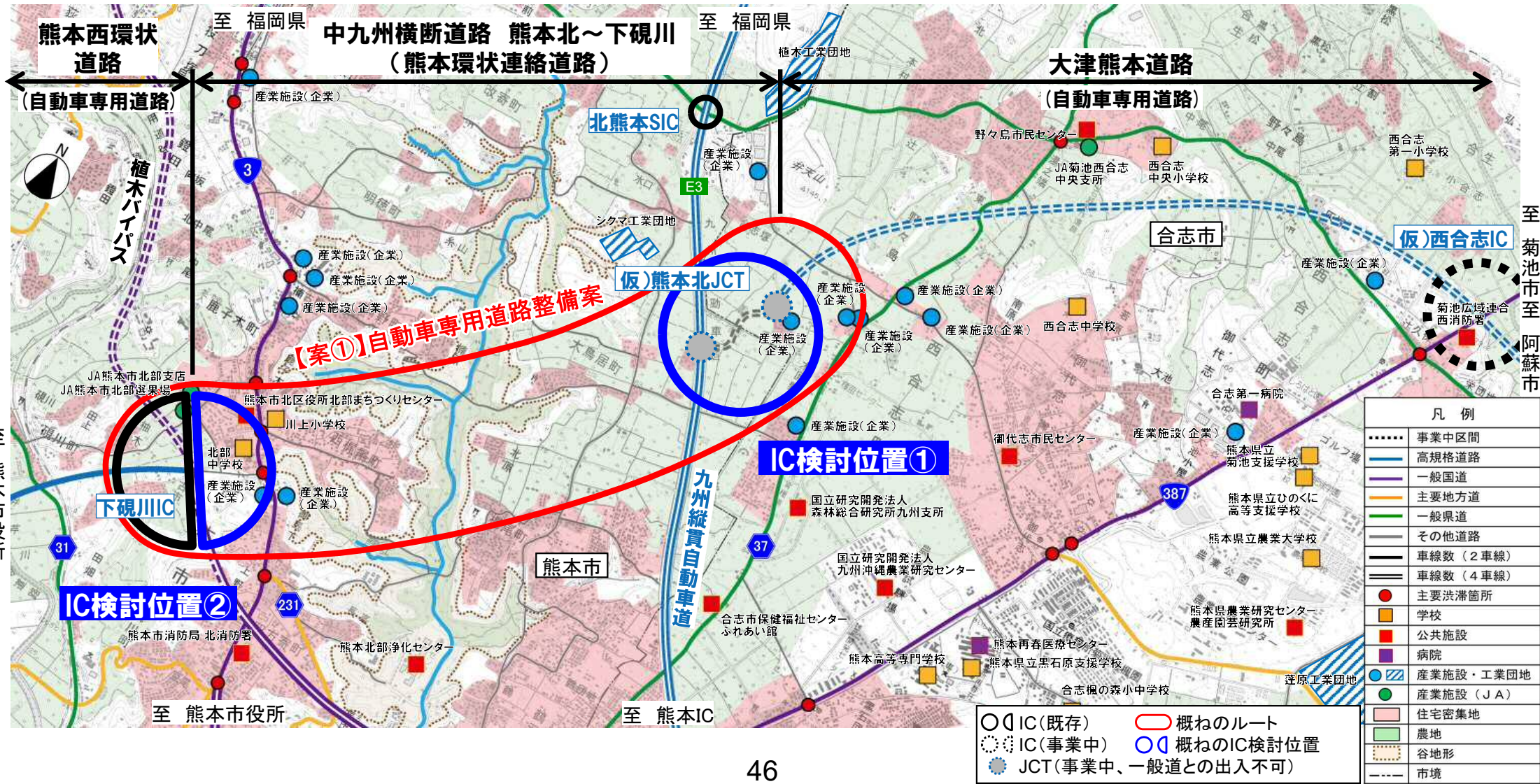
# 4-1. 対応方針(案)の検討(ルート帯案・周辺地域へのアクセス)

## 【ルート帯案の考え方】

- 熊本都市圏の渋滞緩和を図り、高速性・速達性・定時性・走行性の確保による周辺都市へのアクセス向上・産業の活性化・観光振興の促進・救急医療活動の支援、災害に強い道路ネットワークの形成を図るとともに、生活環境の影響が最小限となり経済性を重視した自動車専用道路

## 【周辺地域へのアクセスの考え方】

- 地域の意見を踏まえて、ICを設置することで、渋滞緩和が期待でき生活環境の改善が図れること、周辺の集落や地域の産業拠点に近接し、第三次救急医療施設や熊本市内の交通拠点へのアクセス性及び災害時に周辺の集落や防災拠点へのアクセス性を確保



## 5. 自治体への意見照会



# 5. 自治体への意見照会

## ○意見照会の回答(熊本県知事)

道整第38号  
令和5年(2023年)6月15日

### 意見

1. 中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
2. 中九州横断道路は、大規模災害に対応できる「命の道」、九州全体の経済を支える「経済の道」、そして沿線市町村の「地方創生の道」として、大きな効果が期待される非常に重要な道路です。特に、中九州横断道路沿線の菊陽町では、世界的半導体企業であるTSMC関連工場の建設が、来年中の本格稼働に向け急ピッチで進められおり、周辺地域においても半導体関連企業の進出が相次いでいる状況です。この進出を契機として、本県の経済活性化はもとより、シリコンアイランド九州の復活、さらには、日本の「経済安全保障」へとしっかりつなげていくためにも、中九州横断道路の早期整備が不可欠です。
3. 熊本環状連絡道路は、中九州横断道路の一部であり、半導体生産拠点や世界的観光地である阿蘇への速達性・走行性・安全性の高い道路として、早期整備が不可欠と考えています。加えて、西合志IC～下硯川IC間(約9km)について、沿道からのアクセスが困難とならないよう、沿道からの利便性を考慮したICを設置して頂きますようお願いいたします。当該区間の事業実施にあたっては、早期整備の観点から、有料道路制度の活用も有効な手段の一つであると考えており、併せてご検討いただきますようお願いいたします。
4. 本県としても、中九州横断道路の更なる事業促進を図るため、地元調整に万全を期す所存でございますので、今後も早期事業化に向け、手続きをより一層加速して頂きますようお願い申し上げます。

国土交通省

九州地方整備局長 藤巻 浩之 様

熊本県知事 蒲島 郁夫  
(公印省略)

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和5年(2023年)6月15日付け国九整道一計第7号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
- 2 中九州横断道路は、大規模災害に対応できる「命の道」、九州全体の経済を支える「経済の道」、そして沿線市町村の「地方創生の道」として、大きな効果が期待される非常に重要な道路です。特に、中九州横断道路沿線の菊陽町では、世界的半導体企業であるTSMC関連工場の建設が、来年中の本格稼働に向け急ピッチで進められおり、周辺地域においても半導体関連企業の進出が相次いでいる状況です。この進出を契機として、本県の経済活性化はもとより、シリコンアイランド九州の復活、さらには、日本の「経済安全保障」へとしっかりつなげていくためにも、中九州横断道路の早期整備が不可欠です。
- 3 熊本環状連絡道路は、中九州横断道路の一部であり、半導体生産拠点や世界的観光地である阿蘇への速達性・走行性・安全性の高い道路として、早期整備が不可欠と考えています。加えて、西合志IC～下硯川IC間(約9km)について、沿道からのアクセスが困難とならないよう、沿道からの利便性を考慮したICを設置して頂きますようお願いいたします。当該区間の事業実施にあたっては、早期整備の観点から、有料道路制度の活用も有効な手段の一つであると考えており、併せてご検討いただきますようお願いいたします。
- 4 本県としても、中九州横断道路の更なる事業促進を図るため、地元調整に万全を期す所存でございますので、今後も早期事業化に向け、手続きをより一層加速して頂きますようお願い申し上げます。

# 5. 自治体への意見照会

## ○意見照会の回答(熊本市長)

道計第20号  
令和5年(2023年)6月16日

### 意見

1. 中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
2. 当該地域は、本市の北の玄関口に位置し、主要幹線道路である国道3号が通過する交通の要衝となっているものの、山室交差点など主要渋滞箇所が点在し、さらには熊本市内中心部での平均旅行速度が三大都市圏を除く政令指定都市でワースト1になるなど、都市圏において慢性的な交通渋滞が常態化しており、市民生活をはじめ物流や救急医療、経済活動に深刻な影響を及ぼしています。
3. 世界的半導体企業である台湾積体電路製造(TSMC)の熊本都市圏への進出が公表され、今後、半導体産業及び関連企業等の集積が見込まれ、更なる交通量の増加が予想されます。つきましては、熊本西環状道路や大津熊本道路と一体的に機能する熊本環状連絡道路の早期整備により、熊本都市圏の交通混雑の緩和や地域経済の活性化等が期待されることから、早期事業化に向けた特段のご配慮をお願いします。
4. また、熊本市北部地域等における沿線地域の利便性向上、災害時におけるアクセス性向上、経済活性化等のため、インターチェンジ設置に対する特段のご配慮をお願いします。
5. 今後、本市としましても、事業化に向けて最大限努力してまいりますので、改めて早期の新規事業化実現について特段のご配慮をお願いします。

国土交通省

九州地方整備局長 藤巻 浩之 様

熊本市長 大西 一史  
(公 印 省 略)

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和5年(2023年)6月15日付け国九整道一計第7号で意見照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 中九州横断道路 熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
- 2 当該地域は、本市の北の玄関口に位置し、主要幹線道路である国道3号が通過する交通の要衝となっているものの、山室交差点など主要渋滞箇所が点在し、さらには熊本市内中心部での平均旅行速度が三大都市圏を除く政令指定都市でワースト1になるなど、都市圏において慢性的な交通渋滞が常態化しており、市民生活をはじめ物流や救急医療、経済活動に深刻な影響を及ぼしています。
- 3 世界的半導体企業である台湾積体電路製造(TSMC)の熊本都市圏への進出が公表され、今後、半導体産業及び関連企業等の集積が見込まれ、更なる交通量の増加が予想されます。つきましては、熊本西環状道路や大津熊本道路と一体的に機能する熊本環状連絡道路の早期整備により、熊本都市圏の交通混雑の緩和や地域経済の活性化等が期待されることから、早期事業化に向けた特段のご配慮をお願いします。
- 4 また、熊本市北部地域等における沿線地域の利便性向上、災害時におけるアクセス性向上、経済活性化等のため、インターチェンジ設置に対する特段のご配慮をお願いします。
- 5 今後、本市としましても、事業化に向けて最大限努力してまいりますので、改めて早期の新規事業化実現について特段のご配慮をお願いします。

## 6. 対応方針(案)まとめ

# 6-1. 対応方針(案)まとめ

## 1. 道路整備の必要性

### 【理由】

政策目標を**実現できる道路整備を検討**

### 【政策目標】

- ◇高速性確保・渋滞緩和による生活環境の改善
- ◇高速性・定時性・走行性確保による産業の活性化
- ◇高速性の確保による観光振興の促進
- ◇救急医療機関等への速達性の向上
- ◇災害に強い道路ネットワークの形成

- 対象地域では、国道3号、57号、387号などで慢性的な渋滞が発生しており、移動時の高速性・速達性・定時性・走行性に課題が存在している。そのため、産業の活性化や観光振興、救急医療活動に支障を及ぼしている状況にある。また、災害時に国道の長期通行止めが発生し、被災リスクが高くなっている。
- 住民アンケートや団体・企業ヒアリングにおいても、熊本都市圏の交通渋滞緩和や周辺都市の移動時間短縮、熊本市の第三次救急医療施設までの搬送時間短縮・走行性の向上、及び災害時の代替路が必要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路が望まれている。

## 2. 対応方針(案)

### (1) ルート帯案について

『**案①**自動車専用道路整備案』を対応方針(案)とする。

### 【理由】

- 政策目標に関して、地域の意見聴取で重視すべきとの回答が約9割と特に多かった「①中心部(熊本市)と周辺都市の移動時間が短くなること」「②熊本都市圏の交通渋滞緩和が期待できること」「⑦沿線地域から熊本市の第三次救急医療施設への搬送時間が短くなり、搬送時の揺れが少ないこと」「⑧災害時の対策本部(熊本地方合同庁舎)から被災地へ早く到着できること」の項目について【案①】は優れており、地域のニーズにも応えられている。一方で「⑨災害時に国道等の代替路として利用できること」の項目について【案①】はICアクセスに限定されるため、各拠点にアクセスできる【案②】が優れており、周辺地域へのアクセスに配慮する必要がある。
- 道路整備による影響に関して、すべての項目で重視すべきとの意見が約6割以上であり、「⑩生活環境(大気)への影響が小さいこと」「⑭整備費用が安いこと」については【案②】に比べて、【案①】が優れている。
- 自治体からは政策目標である「高速性確保・渋滞緩和による生活環境の改善」「高速性・定時性・走行性確保による産業の活性化」「高速性の確保による観光振興の促進」「救急医療機関等への速達性の向上」「災害に強い道路ネットワークの形成」と合致した意見が挙げられている。
- 比較評価の結果、【案①】は意見聴取結果にて重要視されている全ての政策目標の達成が見込めるほか、【案②】より総合的に優れている。

### (2) 周辺地域へのアクセスについて

【案①】自動車専用道路整備案では、周辺地域へのアクセスにおいて、ICからのアクセスに限定されることから、地域の意見を踏まえて、渋滞緩和が期待できる生活環境の改善が図れること、周辺の集落や地域の産業拠点に近接し、第三次救急医療施設や熊本市内の交通拠点へのアクセス性や災害時に周辺の集落や防災拠点へのアクセス性を確保するため、ICを配置する。

### 【理由】

- 地域の意見聴取において、「⑮渋滞緩和が期待でき、生活環境の改善が図れること」「⑯地域の産業拠点に隣接し、熊本市内の交通拠点などに早く行けること」「⑰集落に近接し、第三次救急医療施設に早く行けること」「⑱災害時に集落に移動しやすいこと」の項目について8割以上と多かった。
- 自治体からも周辺地域へのアクセスに配慮したIC配置の要望が寄せられている。

## 3. その他(配慮すべき事項等)

- 詳細なルート・構造の検討にあたっては、生活・自然環境や家屋への影響をできる限り少なくし、既存道路状況や沿道利用状況を踏まえながら、コスト縮減に留意した検討を行うとともに、新たに整備される道路と既存の道路の接続方法について、各関係自治体と調整を行う。

# 6-2. 対応方針(案)まとめ

国道・市道と立体で交差し、全線自動車専用で整備することで高速性に配慮した【案①】自動車専用道路整備案とする。

